

オーディオ・ビジュアル

本機では、ラジオ、地上デジタル放送、DVD、iPod・iPhone や CD を録音して編集・再生できる Music Rack など、視聴したいソース（音源や映像）を選んでお楽しみいただけます。

オーディオ・ビジュアルの

基本的な使いかた 124

ソースを切り替える 124

音量を調整する 124

表示画面を切り替える 124

オーディオを OFF / ON する 125

本機で使えるメディアについて 126

SD カード / USB メモリーについて 128

ディスクの出し入れ 129

SD カードの出し入れ 130

オーディオの音質を設定する 131

ラジオを聴く 135

ラジオを受信する 135

ラジオの放送局リストを利用する 136

プリセットチャンネルとは 136

受信バンドを活用する 136

ラジオの設定をする 137

テレビを見る 138

地上デジタル放送とは 139

テレビ放送の受信について 140

アナログ放送からデジタル放送への移行について 140

テレビを見る前に 141

地上デジタル放送の受信について 142

地上デジタル放送の選局をする 144

地上デジタル放送の放送局リストを利用する 145

地上デジタル放送の便利な機能を利用する 147

地上デジタル放送の設定をする 149

DVD を見る 154

DVD を再生する 154

DVD の設定をする 158

DVD ビデオの初期設定を変更する 160

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く 163

ディスクを再生する 163

Music Rack を使う 166

Music Rack に録音する 166

Music Rack を聴く 169

録音設定を変更する 171

アルバム・トラック情報を編集する 172

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く 174

SD カード / USB メモリーの音楽を再生する 174

iPod を聴く / iPod ビデオを見る 176

接続できる iPod 176

iPod を再生する 178

iPod の設定をする 181

Bluetooth オーディオを聴く 183

Bluetooth オーディオを聴くには 183

Bluetooth オーディオ機器を登録する (ペアリング) 184

複数の Bluetooth オーディオ機器を使うには 184

Bluetooth 対応携帯電話をご使用の場合 184

Bluetooth オーディオ機器を再生する 185

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ソースを切り替える

1 AUDIO

2 お好みのソースを選択



選択したソースをお楽しみいただけます。
以降の操作について詳しくは、各ソースの
ページを参照ください。

音量を調整する

1 ▲ または ▼

音量が変わります。

MEMO

- ▲ または ▼ を押し続けると、連続して音量が変化します。
- ナビゲーションの音声案内の音量については、別の操作で調整します (P.69、98)。
- 車両のスマートパーキングアシストシステム (駐車時に音声で案内する機能) が作動中の場合、オーディオの音声ミュートされるため、音量は調整できません。

表示画面を切り替える

オーディオ・ビジュアルの画面には、各オーディオ専用の画面と地図画面の2種類の表示があり、オーディオ画面と地図画面は以下の手順で切り替えることができます。

オーディオ画面に切り替える

1 AV 操作キー



選択したソースのオーディオ画面が表示されます。

※画面はDVDの場合です。

■ 地図画面に切り替える

1

現在地



地図画面が表示されます。

※画面はDVDの場合です。

オーディオを OFF / ON する

オーディオを OFF にする

1



オーディオが OFF になります。

地図画面からオーディオ機能がOFFになったことを確認できます。



Audio OFF と表示されます。

MEMO

- ・ソース画面からも OFF できます。

AUDIO ▶ Audio OFF



- ・オーディオを OFF にしたときも、ナビゲーションの音声案内は出力されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

オーディオを ON にする

1 (電源)

オーディオが ON になります。

OFF にする前にお使いになっていたオーディオ機能が再生されます。

ON になったオーディオ機能は AV 操作キーで確認できます。



AV 操作キーが表示されます。

MEMO

- 前回とは別のオーディオ機能を ON にしたい場合は、ソース選択画面から ON にしたい項目を選びます。

(AUDIO) ▶ 好みのソースを選択



- 現在、未接続および未挿入のオーディオを ON にしたい場合、好みのディスクを挿入、または USB/iPod の接続をするとオーディオ機能がすぐに ON になります。

本機で使えるメディアについて

ディスクについて

- ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数:
フォルダ：255 (ルートを含む)
ファイル：512
トラック：1 フォルダあたり 255

⚠ 注意

- 下記のディスクは、ディスクに傷が付いたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
 - 8cmCD
 - 異形のディスク
 - デュアルディスク (Dual Disc)
 - ラベルを貼り付けたディスク
- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋を付けないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■ 再生できる CD

- ・ 音楽 CD
- ・ CD-TEXT ディスク
- ・ CD-Extra ディスク ※ただし音楽 CD として
- ・ Super Audio CD ※ハイブリッドディスクの CD 層のみ
- ・ パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※¹
- ・ 音楽 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R、CD-RW ディスク※²
- ・ コピーガード付き CD※³

※ 1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。

※ 2 正常に再生できないこともあります。また CD-RW ディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常の CD や CD-R より時間がかかります。

※ 3 再生できないこともあります。

■ 再生できない CD

- ・ MIX MODE CD
- ・ CD-DA 以外のディスク（オーバーバード CD など）
- ・ DTS CD
- ・ ビデオ CD
- ・ ファイナライズしていない CD-R、CD-RW ディスク

■ 再生できる DVD

本機では市販の DVD ビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存された DVD-VR を再生できます。

DVD-VR を再生する場合は、あらかじめお持ちのレコーダーでディスクをファイナライズしておく必要があります。

- ・  のついているディスク
- ・ リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- ・ DVD-VR

■ 再生できない DVD

- ・ リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- ・ パケットライト方式で記録されたディスク
- ・ ご家庭でハイビジョン録画したディスク
- ・ DVD-RAM

※ビデオモードで録画・ファイナライズした DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW は、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

■ ディスクの保管場所について

ディスクは次のような場所には保管しないでください。

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 湿気やホコリの多い場所
- ・ 暖房の熱が直接当たる場所

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

SD カード／USB メモリーについて

本機で使えるSDカード／USBメモリー

- 記録メディア
SD カード、SDHC カード（32GB 以下）、
USB メモリー
※SDXC メモリーカードには対応していません。
- 記録フォーマット
SD カード：FAT16、FAT32
USB メモリー：FAT12、FAT16、FAT32
- SD カード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数
フォルダ：500
ファイル：8000
トラック：1 フォルダあたり 99
- USB メモリー内の最大フォルダ・ファイル・トラック数
フォルダ：512
ファイル：8000
トラック：1 フォルダあたり 255
- 拡張子が.MP3、または.WMA のファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3/WMA ファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）
- ファイルサイズが 2GB 未満のファイル
（ただし、ファイルサイズが 1GB を超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。）

MP3・WMA について詳しくは、P.226 を参照ください。

利用可能な SD カード

SD カードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。

本機でお使いいただける SD カードは以下のとおりです。

本機では SD カードと互換のない記録メディアには対応していません。

- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード
- miniSD カード※
- microSD カード※

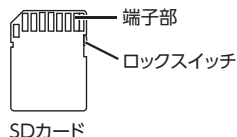
※専用のアダプターが必要です。

MEMO

- miniSD アダプター、microSD アダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

SD カードについてのご注意

- SD カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、SD カードを拭かないでください。
- 書き込み、読み込みなどの使用中は操作パネルを開けたり、SD カードを本機から抜いたり、エンジンキーを OFF にしたりしないでください。
- SD カードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
- SD カードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- SD カードの端子部に、手や金属で触れないでください。
- SD カードの最適化は行わないでください。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SD カードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SD カード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- SD カードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



ディスクの出し入れ

ディスクは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するかあるいは取り出してください。振動により抜け落ちたり操作パネルが自動的に閉まることにより、破損する恐れがあります。

MEMO

ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。

ディスクの入れかた

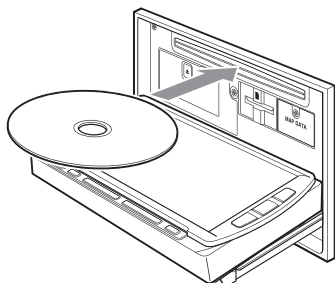
⚠ 注意

- ディスクは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するかあるいは取り出してください。振動により抜け落ちたり操作パネルが自動的に閉まることにより、破損する恐れがあります。
- ディスクを2枚重ねて挿入しないでください。重ねて挿入した場合、2枚のうち1枚が飛び出していると、ディスクをパネルで挟み込んでしまうことがあります。

1

操作パネルが開きます。

2 ディスクの記録面（光沢のある面）を下にして、挿入口に差し込む



ディスクが取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。しばらくすると、ディスクの再生がはじまります。

MEMO

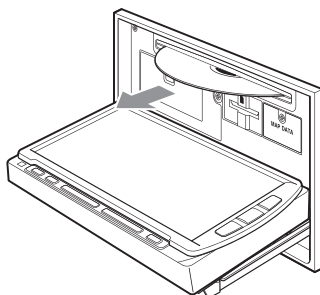
- ▲マークが点灯しているときは、すでにディスクがセットされています。セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。
- ある程度差し込むと、ディスクは自動的に取り込まれます。ディスクが取り込まれない場合は、すでにディスクがセットされています。ディスクを無理やり挿入せず、セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。

ディスクの取り出しかた

1

操作パネルが開きます。

2 本体の を押して、ディスクを取り出す



3

操作パネルが閉まります。

MEMO

ディスクを取り出さないうまま、しばらくすると、自動的にディスクが取り込まれ、操作パネルが閉じます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVDを見る

CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く

Music Rackを使う

SDカード／USBメモリーの音楽を聴く

iPodを聴く／iPodビデオを見る

Bluetoothオーディオを聴く

SD カードの出し入れ

⚠ 注意

SD カードは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するかあるいは取り出してください。

振動により抜け落ちたり操作パネルが自動的に閉まることにより、破損する恐れがあります。

MEMO

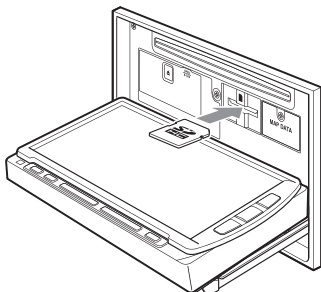
SD カードの端子部には触れないでください。

SD カードの入れかた

1

操作パネルが開きます。

2 SD カードのラベル面を上にして、挿入口に差し込む



カチッと音がするまで、SD カードを奥にしっかりと差し込んでください。操作パネルは開けてから一定時間が経過すると自動的に閉じます。

MEMO

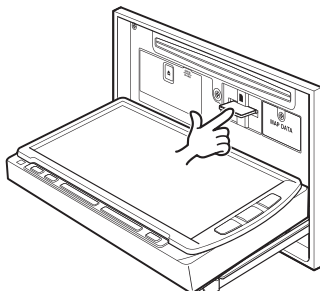
SD カードが正しく差し込まれていないと、操作パネルを閉じることはできません。

SD カードの取り出しかた

1

操作パネルが開きます。

2 SD カードを押す



SD カードが少し飛び出します。

3 SD カードを取り出す

4

操作パネルが閉まります。

MEMO

SD カードを取り出すときは、指でSD カードをしっかりつまんでください。SD カードが飛び出すおそれがあります。

オーディオの音質を設定する

オーディオの音質に関する設定を行います。

オーディオ OFF 時には設定できません。オーディオを ON にしてから操作してください。

1

(MENU) ▶ (設定) ▶ オーディオ



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
Balance/Fader	前後左右のスピーカーの音量バランスを調整する (P.132)	L5 ～ R5 (0 [*]) / R5 ～ F5 (0 [*])
Loudness	音量の大きさに合わせて、高音と低音を強調する	ON / OFF [*]
グラフィック EQ	あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する (P.132) 音質効果メモリーを調整することもできます。	Bass.B / High.B / Acoustic / Impact / Smooth / Flat [*]
	〈ユーザーカスタマイズ〉 音質効果メモリーを作成して保存する (P.133)	—
Sound Restorer / Virtual Bass	圧縮オーディオに対して高音域を補完することで、圧縮前の原音に音質を近づける (Sound Restorer) 低音域の倍音成分を付加することで重低音を増強し、豊かな低音再生を可能とする (Virtual Bass)	ON / OFF [*] OFF [*] / LOW / MID / HIGH
Dolby Volume	〈Dolby Volume〉 再生ソースによる音量レベル差や、テレビの番組と CM の音量レベル差、映画のシーンごとの音量レベル差などを検知し、音量レベルを自動調整する (P.134)	OFF [*] / LOW / MID / HIGH
	〈Dolby Volume Modeler〉 Dolby Volume の聴感補正機能を有効にする (P.134) ・Dolby Volume が OFF のときは操作できません。	ON / OFF [*]
車速連動音量	加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する ・レベルの数値が大きいほど、音量の上がる幅が大きくなります。	OFF / LOW / MID [*] / HIGH

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

設定項目	設定の内容	設定値
Vocal image Control	ボーカルの音量バランスを調整することで、ボーカルの音像を前後左右に移動する (P.132)	L9 ~ R9 (0*) R9 ~ F9 (0*)
録音設定	Music Rack の録音設定をする (P.171)	挿入と同時に録音：1 倍速 ／挿入と同時に録音：2 倍速／手動で録音*

スピーカーの音量バランスやボーカルの音量バランスを調整する

- 1 (MENU) ▶ 設定 ▶ オーディオ
- 2 Balance/Fader または Vocal image Control
- 3 ▲、▼、◀、▶ をタッチして設定



MEMO

- 初期値に戻す をタッチすると、現在選択している調整内容（音量バランス、または Vocal image Control）が初期値に戻ります。
- Balance/Fader が全体の音量バランスを調整するのに対し、Vocal image Control はステレオ音源の中央に定位するボーカルや主要な楽器などの成分の音量バランスを調整します。
- スピーカーの構成や乗車人数などに応じて、ボーカルの左右のバランスや奥行き感を調整する際にご使用ください。

音質効果メモリーを選んで設定する

お好みの音質を選んで設定できます。

- 1 (MENU) ▶ 設定 ▶ オーディオ
- 2 グラフィックEQ
- 3 音質を選択



Bass.B :

重低音の増強

High.B :

中高域の増強

Acoustic :

中域（人の声）の増強

Impact :

低域と高域の増強

Smooth :

しっとりとした落ち着いた感じ

Flat :

原音、EQ を OFF

好みの音質効果を設定する

- 1 **MENU** ▶ **設定** ▶ **オーディオ**
- 2 **グラフィックEQ**
- 3 **User 1**、**User 2**、または
User 3
- 4 **調整する**
- 5 **音質効果を設定**



▲、▼：

低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整します。

Flat：

各帯域の設定を「0」に戻します。

MEMO

次回からは手順 3 で同じ設定を呼び出せます。

Dolby Volume を調整する

■ Dolby Volume とは

Dolby Volume は、あらゆる音楽ソースやシーンにおける音量レベル差を自動調整し、音量補正を行う機能です。Dolby Volume を ON にすると、オーディオ信号の聴感上の音量レベルを常時モニター、調整し、音量レベル差を一定の範囲に抑えて視聴することができます。

音量レベル差は以下のようなケースで起こります。

- CD を聴いているときとラジオを聴いているときの音量レベル差
- TV を見ているときの番組と CM の音量レベル差、または番組ごとの音量レベル差
- DVD など映画を見ているときの爆発シーンなど大きな音のシーンと、静かなシーンとの音量レベル差

Dolby Volume を ON にすると、これらのケースでも音量操作をすることなく、各ソースを聴こえやすい音量レベルで視聴することができます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

■ Dolby Volume のレベルを調整する

Dolby Volume のレベルを調整することで、「音量補正」の効果を変化させることができます。「[LOW]」→「[MID]」→「[HIGH]」の順で、音量補正の効果が高くなります。

- 1 **MENU** ▶ **設定** ▶ **オーディオ**
- 2 **Dolby Volume**
- 3 **[Dolby Volume]** の ◀ または ▶
Dolby Volume のレベルが調整されます。

MEMO

- テレビや DVD などの音量レベル差が大きいソースを視聴するときは、「[MID]」または「[HIGH]」に設定することをおすすめします。
- Dolby Volume は、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定することができます。ソースを切り替えると、Dolby Volume もそれぞれの設定値に切り替わります。

■ Dolby Volume Modeler の ON/OFF を切り替える

Dolby Volume Modeler では、Dolby Volume の聴感補正機能を設定することができます。Dolby Volume Modeler を ON にすると、オーディオソースを小音量で視聴している場合と、大音量で視聴している場合で知覚的印象が同じになるように聴感補正を行います。

- 1 **MENU** ▶ **設定** ▶ **オーディオ**
- 2 **Dolby Volume**
- 3 **Dolby Volume Modeler**

MEMO

- テレビや DVD などの映像ソースを視聴するときは、Dolby Volume Modeler を ON にすることをおすすめします。
- CD などの音楽ソースを再生するときは、曲調に合わせて ON/OFF を切り替えてください。曲調に合わない場合は、OFF にしてください。
- Dolby Volume Modeler が ON のときは、「[Loudness]」を OFF にすることをおすすめします。また「[Loudness]」が ON のときは、Dolby Volume Modeler を OFF にすることをおすすめします。
- Dolby Volume Modeler は、Dolby Volume が OFF のときは操作できません。
- Dolby Volume Modeler は、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定することができます。ソースを切り替えると、Dolby Volume Modeler もそれぞれの設定値に切り替わります。

ラジオを聴く

ラジオを受信する

AM/FM を切り替える

AM ラジオ、FM ラジオを切り替えて受信します。

1 **AUDIO** ▶ **FM/AM**

ラジオが受信されます。

2 **FM/AM**



タッチするたびに、AM ラジオと FM ラジオが切り替わります。

MEMO

自宅モードの場合、「AM」→「FM1」→「FM2」→「AM」…の順で切り替わります。お出かけモードの場合、「AM（お出かけ）」と「FM（お出かけ）」が交互に切り替わります。

自動で放送局を選ぶ

1 **AUDIO** ▶ **FM/AM**

2 **◀▶** または **▶▶** (1.5 秒以内の長押し)

受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

MEMO

◀▶ または **▶▶** を 1.5 秒以上長押しすると、ボタンを押している間、周波数が連続して切り替わります。指を離すと自動で受信可能な放送局を検出し、受信します。

手動で放送局を選ぶ

1 **AUDIO** ▶ **FM/AM**

2 **◀▶** または **▶▶**

押すごとに周波数が切り替わります。

リストから選局する

登録した放送局を、リストから選局します。

1 **AUDIO** ▶ **FM/AM**

2 目的の放送局を選択

選択した放送局が受信されます。

MEMO

AV コントロールバーの **前P.CH** または **次P.CH** をタッチして、放送局を切り替えることもできます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

ラジオの放送局リストを利用する

よく聴く放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ周波数を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、自宅モードに AM/FM1/FM2 の 3 種類、お出かけモードに AM/FM の 2 種類があります。登録できる放送局は、それぞれのリストで 6 つまでです。

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の 2 種類があります。



プリセットチャンネルリスト
(放送局リスト)

リストに「重複」と表示されるときは

同一周波数内で、異なる放送局名が存在するときは、リストに「重複」と表示されます。「重複」と表示されている放送局を受信中に、そのチャンネルリストをタッチすると、表示されている放送局名を切り替えることができます。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。

たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 お出かけ

放送局リストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、キーのランプが点灯します。自宅モード選択時にはランプが消灯します。

リストに自動で登録する（オートプリセット）

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 オートプリセット ▶ はい

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

MEMO

- ・本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。中止するには、**キャンセル** をタッチします。
- ・オートプリセットを途中で停止させた場合、それまでに受信した放送局は登録されません。

リストに手動で登録する

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 登録したい放送局を受信

3 登録するチャンネルを、「ピーツ」という音がするまで長押し



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

ラジオの設定をする

受信地域を選択する

受信地域を正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

MEMO

走行中は本操作を行えません。

- 1 AUDIO ▶ FM/AM
- 2 設定
- 3 地域選択
- 4 オート または地域を選択



受信地域が切り替わります。

MEMO

- **オート** をタッチすると、自車位置に応じた地域の放送局名を表示します。
- 自宅モードとお出かけモードでそれぞれ地域を設定できます。

FM 多重放送を表示する

FM ラジオ受信時に FM 多重放送を受信し、直近の道路交通情報などを画面に表示させることができます。

- 1 AUDIO ▶ FM/AM
- 2 設定
- 3 FM多重放送



FM 多重放送が受信されます。

MEMO

- AM ラジオ受信時には **FM多重放送** キーは表示されません。
- 複数の番組メニューがある場合は「番組番号」キーが表示されます。見たい番組番号をタッチして切り替えてください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

テレビを見る

本機では、地上デジタル放送のテレビをお楽しみいただけます。

アナログ放送終了後の周波数リパックについて

2011 年 7 月 24 日の地上アナログ放送停波後から、周波数の再編（周波数リパック）が実施されます。地上デジタル放送については現在 13ch～62ch が割り当てられていますが、2011 年 7 月 24 日以降、13ch～52ch の割り当てに変更になります。53ch 以上の放送は、地上デジタル放送のチャンネルが切り替わることで視聴ができなくなるため、本機でオートプリセットする必要があります（P.145）。なお周波数の切り替え時期は地域によって異なります。

なお、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県においては、法令上の期限である平成 23 年 7 月 24 日までに地上デジタル放送の受信環境の整備が間に合わない見込まれたため、当該地域における地上アナログ放送の周波数の使用の期限を平成 24 年 3 月 31 日までとしていますので、これら地域におけるリパックは、平成 24 年 4 月 1 日から 1 年以内に実施する予定です。

周波数リパックの情報に関しては下記の URL を参照ください。

- デジサポのホームページ
<http://digisuppo.jp/repack/>
- 総務省の資料
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/pdf/090403_02_bt.pdf

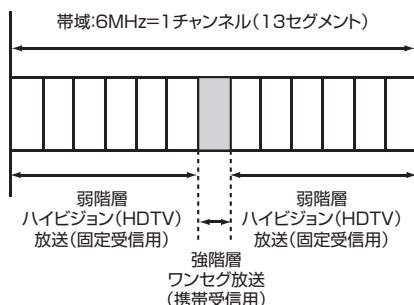
地上デジタル放送とは

地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送です。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。本機では、ワンセグ／12 セグの地上デジタル放送を楽しめます。

12 セグとワンセグについて

日本の地上デジタル放送は、UHF 帯域の電波を使用しており、約 6MHz の帯域を 1 つのチャンネルとして 13 個のセグメントと呼ばれる領域に分けて放送する仕組みとなっています。そのうち 12 セグメントを使って高画質・高音質の固定受信向けの HDTV 放送（弱階層）を行うサービスを 12 セグと呼びます。ワンセグ放送は、残り 1 セグメントを使って携帯や移動体向けの簡易動画放送（強階層）を行うサービスです。

ワンセグは 12 セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は 12 セグより長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる特長を備えています。



マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1 つの放送局が図のように周波数帯域を 2 ～ 5 に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

	A 放送局		
	〇〇〇ch	△△△ch	×××ch
6 時	プロ野球中継 (デジタルハイビジョン放送)		
7 時	プロ野球 (標準テレビ放送)	ドラマ (標準テレビ放送)	ニュース (標準テレビ放送)
8 時	映画 (デジタルハイビジョン放送)		

上記の例で、6 時台は〇〇〇 ch と△△△ ch と××× ch のすべてを使いプロ野球を放送。7 時台は〇〇〇 ch でプロ野球、△△△ ch でドラマ、××× ch でニュースをそれぞれ放送。8 時台は、〇〇〇 ch と△△△ ch と××× ch のすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。

上記の放送の例では、〇〇〇 ch をメインチャンネル、△△△ ch と××× ch をサブチャンネルと呼びます。

本機はマルチチャンネルに対応しています。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード／USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く／iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

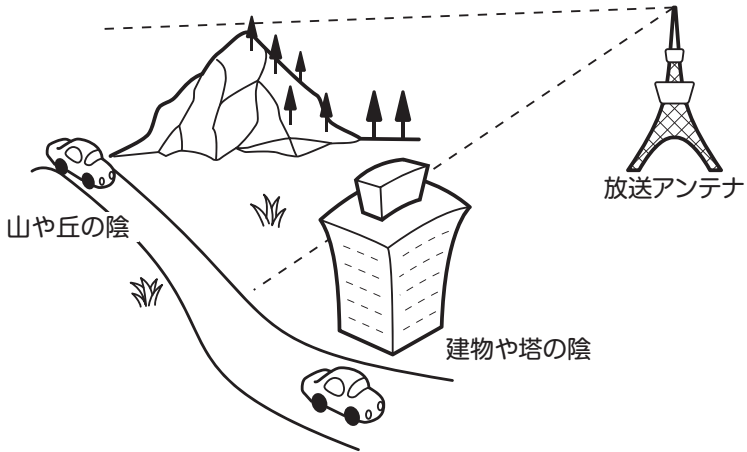
テレビ放送の受信について

テレビ放送をご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。

放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。

電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上アナログ放送は 2011 年 7 月に終了し、地上デジタル放送へと移行しました。

テレビを見る前に

テレビを視聴するために必要な mini B-CAS カードについて説明します。

mini B-CAS カードについて

mini B-CAS カード（以降、B-CAS カード）は、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。

地上デジタル放送では、この B-CAS カードがセットされていないと放送をご覧になれません。

地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機に B-CAS カードを入れてください。

MEMO

B-CAS カードは本機に付属のものを使用してください。

- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるために B-CAS カードが必要です。
- B-CAS カードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わると B-CAS カードが故障するおそれがあります。
- B-CAS カードの金属端子面は触らないでください。金属端子面に触れると B-CAS カードが故障するおそれがあります。
- B-CAS カードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温により B-CAS カードが故障するおそれがあります。
- B-CAS カードを磁気がある場所に放置しないでください。磁気により B-CAS カードが故障するおそれがあります。
- 試乗車など、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
※試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。

mini B-CAS カードを台紙から取る

B-CAS カードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CAS カード利用許諾契約約款」を締結したことになります。

B-CAS カードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CAS カスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

MEMO

- B-CAS カードに関する内容の問い合わせや、B-CAS カードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250 (AM10:00 ~ PM8:00) (年中無休)
- お問い合わせ時に B-CAS カードの ID (識別) 番号が必要となる場合があります。あらかじめ B-CAS カードの ID 番号は控えておいてください (P.152)。

mini B-CAS カードのセット

MEMO

- B-CAS カードの抜き差しは、必ずエンジンキーを OFF にした状態で行ってください。
- 故障の原因となりますので、カード挿入口に B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 車から離れるときは、必ず操作パネルを閉じてください。

1 エンジンキーを OFF にする



操作パネルが開きます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

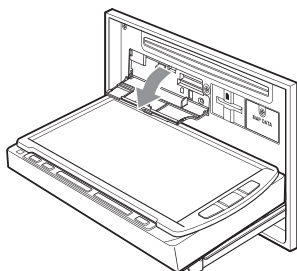
Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

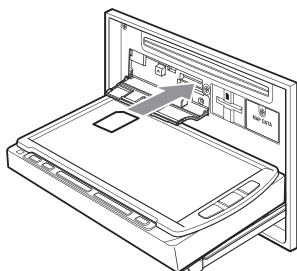
iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

3 mini B-CAS カード挿入口のフタを 指先で手前に倒す



4 金属端子面を下にして、mini B-CAS カードをカード挿入口に挿 入する



5 mini B-CAS カード挿入口のフタを 閉める

6

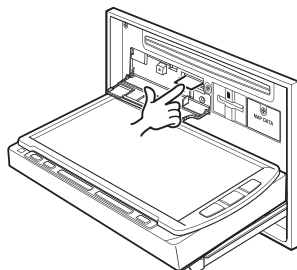
MEMO

- mini B-CAS カードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。



印字面を上にして
差し込む

- mini B-CAS カードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。奥まで差し込まれていないと、操作パネルが閉じなくなり、受信できません。(カチッと音がするまで差し込みます。)
- mini B-CAS カード挿入口のフタは必ず奥に突き当たるまで閉じてください。(カチッと音がするまで閉じます。)
- mini B-CAS カードを抜く場合は、カードや本体を傷つけないよう静かに抜いてください。(指先でカチッと音がするまで押して離します。その後、指先でカードをしっかりとつまんで手前に抜き取ります。)



- mini B-CAS カード挿入口のフタが開いている状態では、操作パネルは閉じません。
- 操作パネルが閉じた状態で、走行中に B-CAS 挿入口のフタが開くと、自動的に操作パネルが開くようになっています。

地上デジタル放送の受信について

警告

- 運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

MEMO

- 地上デジタル放送を受信するには、受信用アンテナが必要です。
- 本機は地上デジタル 12 セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12 セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えることができます (P.149)。
- 地上デジタル放送受信中に音量を調整した場合、ほかのソース (ラジオ、DVD などの音源・映像源) に切り替えて音量を変えても、次回地上デジタル放送を受信したときに元の音量で見られます。
- 地上デジタル放送受信時に画像が乱れることがあります。故障ではありません。また画像が一時的に止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

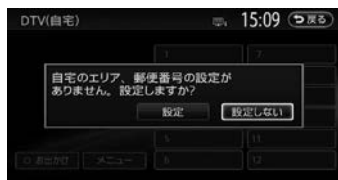
はじめて使うときは

はじめて地上デジタル放送を見るときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶 (オートプリセット) させます。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 画面をタッチ

3 設定



MEMO

「設定しない」をタッチすると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト (プリセットチャンネルリスト) には何も表示されません。

4 テレビを受信する地域を選択

5 テレビを受信する地域の郵便番号を入力 ▶ 決定

6 はい

受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。オートプリセットが終了するまで、しばらくお待ちください。オートプリセットが終了すると、テレビ画面に切り替わります。



次回から (AUDIO) ▶ Digital TV でテレビ画面が表示されます。

画面のキーに触れないまま約 8 秒が経過すると、画面に表示されているキーが非表示になります。再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO

- 手動でキーを非表示にするには、(戻る) をタッチします。
- 手順 4、手順 5 で「設定しない」を選択しても、オートプリセットを実行することができます。
- 手順 6 で「いいえ」を選択すると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト (プリセットチャンネルリスト) には何も表示されません。
- 受信する地域と郵便番号は、設定画面からも設定できます (P.151)。

ワンセグ / 12 セグの自動切替機能について

本機の地上デジタル TV チューナーは、12 セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12 セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。

自動切替機能 ON (P.149) 時に、12 セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

MEMO

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や 12 セグ放送で視聴していたチャンネルがワンセグ放送にない場合には、自動切替機能は働きません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていないのにワンセグと認識してデータが送信され、自動切替機能が動作する場合があります。
- 自動切替機能を ON に設定していると、手動でワンセグ放送に切り替えても 12 セグ放送の受信電波が強くなった場合は、12 セグ放送に切り替わります。
- 放送局によっては、12 セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。
- 自動切替機能 OFF 時に、12 セグ放送受信時に電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、12 セグ放送の映像が静止画で表示されます。

地上デジタル放送の選局をする

テレビ画面から選局する

現在見ている画面から、ほかのチャンネルに切り替えることができます。

- 1 AUDIO ▶ Digital TV
- 2 画面をタッチ
- 3 放送局を選択



選択した放送局に切り替わります。

MEMO

◀ または ▶ を押して、チャンネルを切り替えることもできます。

自動で選局する

- 1 AUDIO ▶ Digital TV
- 2 ◀ または ▶ (長押し)

受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

MEMO

「1 セグ / 地デジ切替」(P.149)を「自動」に設定している場合、12 セグ放送を優先して受信します。

受信可能な中継局／系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えることができます。はじめに中継局探し、中継局がなければ系列局を探します。

- 1 AUDIO ▶ Digital TV
- 2 画面をタッチ
- 3 メニュー ▶ 系列局サーチ

走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。

異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信することができます (P.150)。

MEMO

- 「1 セグ / 地デジ切替」(P.149)を「自動」に設定している場合、12 セグ放送を優先して受信します。
- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

番組表 (EPG) から選局する

見たい番組を番組表から探して選局します。

- 1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー** ▶ **番組表**
- 4 **▲**、**▼**、**◀**、**▶** で番組を選択 ▶ **決定**



選択した番組の放送を受信します。

番組表切替：

タッチするたびに、番組表の表示をワンセグ／12セグに切り替えます。

※「1セグ/地デジ切替」(P.149)を「自動」に設定している場合のみ

前日：

翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示します。

翌日：

翌日の番組表を表示します。

表示切替：

番組表の表示を、メインチャンネルのみ／全チャンネルに切り替えます。

拡大縮小：

タッチするごとに4パターンの拡大縮小画面が表示されます。

更新：

番組表の内容を更新します。

MEMO

- ・番組表は、ほかのソース選択時やオーディオパワーOFF時などテレビモードがOFFのときには、15分ごとに自動で更新されます。
- ・現在の放送時間ではない番組を選択すると、番組内容が表示されます (P.147)。

チャンネル番号を入力して選局する

12セグおよびワンセグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局することができます。

- 1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー** ▶ **設定**
- 4 **チャンネル番号入力**
- 5 チャンネル番号を入力 ▶ **決定**

MEMO

- ・3桁に満たない番号を入力した場合は、**決定**はタッチできません。
- ・「1セグ/地デジ切替」(P.149)が「自動」の場合は、ワンセグ／12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。
- ・「1セグ固定」の場合はワンセグ3桁チャンネル、「地デジ固定」の場合は12セグ3桁チャンネル番号のみ選局されます。
- ・テレビ画面で見たい番組の放送局をタッチして、直接選局することもできます。

地上デジタル放送の放送局リストを利用する

よく見る放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ放送局を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、自宅モードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVDを見る

CD、ディスク(MP3・WMA)の音楽を聴く

Music Rackを使う

SDカード／USBメモリーの音楽を聴く

iPodを聴く／iPodビデオを見る

Bluetoothオーディオを聴く



プリセットチャンネルリスト
(放送局リスト)

MEMO

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルに登録しても、そのメインチャンネルが登録されません。
- 「1セグ/地デジ切替」(P.149)の設定を変更して、ワンセグと12セグを切り替えても、プリセットチャンネルリストの表示は変わりません。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。

たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**

2 **画面をタッチ**

3 **お出かけ**

放送局リストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、キーのランプが点灯します。自宅モード選択時にはランプが消灯します。

リストに自動で登録する (オートプリセット)

1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**

2 **画面をタッチ**

3 **メニュー** ▶ **オートプリセット**

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

MEMO

- お出かけモード中で、かつ、お出かけ地域を設定(P.151)している場合は、手順3の後に「現在のお出かけ地域設定を考慮しますか?」というメッセージが表示されます。**はい** または **いいえ** をタッチして、オートプリセットを行います。
- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 受信状態によっては、1分ほど処理時間がかかることがあります。
- オートプリセット中は、**キャンセル** を押してキャンセルすることができます。
- オートプリセットを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。以前に手動で登録したプリセットチャンネルが消去される場合もあります。
- オートプリセットを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わず、プリセットチャンネルのうち、オートプリセット前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定(P.151)で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。
- 県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートプリセットしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートプリセットした結果が全部は登録できない場合があります。

- ・「1セグ/地デジ切替」(P.149)が「自動」の場合は、12セグを優先して受信します。「1セグ固定」または「地デジ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

リストに手動で登録する

- 1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 登録したい放送局を受信
- 4 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまで長押し



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン/サブチャンネルを選局する

受信中のチャンネルにサブチャンネルが存在する場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えることができます。サブチャンネルが存在する場合は、画面に「SUB」と表示されます。(12セグのみ)

- 1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 受信中のプリセットチャンネルを選択



サブチャンネルに切り替わります。

地上デジタル放送の便利な機能を利用する

番組内容を見る (12セグ放送のみ)

現在受信中の番組の詳細内容を表示します。

MEMO

走行中は、本操作を行えません。

- 1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー** ▶ **番組内容**

MEMO

番組表 (EPG) 画面 (P.145) で現在の放送時間ではない番組を選択した場合も、番組内容を表示できます。この場合は、番組内容の概要が表示されます。番組内容の概要は、ワンセグ選択中でも表示できます。

データ放送を利用する (12セグ放送のみ)

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかに、自転車位置周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

MEMO

データ放送がない番組の場合、**d** をタッチしてもデータ放送画面は表示されません。

- 1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー** ▶ **データ放送操作キー呼出**

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVDを見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rackを使う

SDカード/USBメモリの音楽を聴く

iPodを聴く/iPodビデオを見る

Bluetoothオーディオを聴く

4

d

データ放送画面が表示されます。
画面を操作する場合は手順 5 に進みます。



手順 5 に進み、画面を操作できます。

d:

データ放送の表示／非表示を切り替えます。

終了:

データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻ります。

5



画面上に操作キーが表示されます。



青 赤 緑 黄:

画面に表示されている指示にしたがってタッチします。

0-9:

数字入力メニューに切り替わります。

d:

データ放送の表示／非表示を切り替えます。

移動:

操作キーの位置を画面の左右に移動します。

消す:

操作キーの表示を消します。

MEMO

- チャンネル選局直後には **d** をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 **d** をタッチしてください。
- 画面下に「データ取得中」と表示されているときは、データ放送取得中のため、表示が消えてから **d** をタッチしてください。

緊急放送を見る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者に、いち早く情報を知らせる放送システムです。

デジタル放送受信中に緊急放送がはじまると、画面に「EWS」(Emergency Warning System)、または「緊急放送を受信しました」と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。



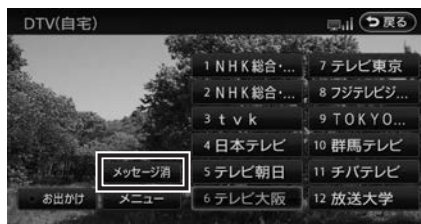
放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

MEMO

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできません。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動的に送られてくるメッセージがある場合は、そのメッセージ内容が画面上に表示されます。



テレビ画面で **メッセージ消** をタッチすると、自動表示メッセージが消去されます。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で 12 セグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

ワンセグ／12 セグの切り替え設定をする

本機の地上デジタル TV チューナーは、12 セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12 セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。

「自動」に設定中は、12 セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。

また、ワンセグ／12 セグのみ受信することもできます。

MEMO

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や 12 セグ放送で視聴していたチャンネルにワンセグ放送がない場合には、自動的に切り替わりません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていないくても、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12 セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 [1 セグ / 地デジ切替] の ◀、▶ で項目を選択



自動：

12 セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。

地デジ固定：

12 セグ放送を受信します。

1 セグ固定：

ワンセグ放送を受信します。

MEMO

- 工場出荷時、「1 セグ / 地デジ切替」は「自動」に設定されています。
- 12 セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにワンセグ放送に切り替え、再度 12 セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。
- 「地デジ固定」に設定中、電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わずに、12 セグ放送の映像が静止画で表示されます。

音声言語を切り替える

2 ケ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 [音声] の ◀、▶ で音声を選択

受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。12 セグ放送は最大 16 音声まで、ワンセグ放送は 2 音声まで切り替えられます。

MEMO

音声を切り替えた後、ほかのチャンネルに切り替えると第 1 音声に戻ります。同じチャンネルのまま 12 セグとワンセグを切り替えた場合、設定した音声は変わりません。

二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

- 1 AUDIO ▶ Digital TV
- 2 画面をタッチ
- 3 メニュー ▶ 設定
- 4 [主 / 副] の ◀、▶ で音声を選択
「主音声」「副音声」「主 / 副 音声」から選択します。

MEMO

- ・工場出荷時、音声は「主音声」に設定されています。
- ・副音声の状態ではほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

字幕表示を切り替える

字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。
表示する場合は「第一言語」「第二言語」の各言語から選択します。

- 1 AUDIO ▶ Digital TV
- 2 画面をタッチ
- 3 メニュー ▶ 設定
- 4 [字幕] の ◀、▶ で項目を選択
「第一言語」「第二言語」「非表示」から選択します。

MEMO

工場出荷時、字幕表示は「非表示」に設定されています。

放送局を自動で切り替える

時間内に放送が終わらなかったとき、局が変更される番組（高校野球中継など）について、放送局の切り替えを自動で行えます。

- 1 AUDIO ▶ Digital TV
- 2 画面をタッチ
- 3 メニュー ▶ 設定
- 4 イベントリレー

MEMO

工場出荷時、イベントリレーは「ON」に設定されています。

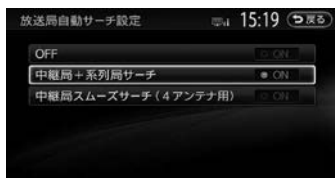
系列局／中継局を自動で探す

走行中に電波状態が悪化し、30 秒間受信レベルが回復しない場合、放送局を自動でサーチするように設定することができます。

- 1 AUDIO ▶ Digital TV
- 2 画面をタッチ
- 3 メニュー ▶ 設定
- 4 放送局自動サーチ設定

MEMO

設定画面に表示される項目は、TV アンテナの接続本数によって異なります。
「中継局スムーズサーチ（4 アンテナ用）」は、アンテナを 4 本接続した場合のみ設定できます。



OFF :
放送局の自動サーチを行いません。

中継局＋系列局サーチ：

走行している地域が変わった場合、その地域の中継局／系列局を自動でサーチします。電波が弱くなると、自動サーチを開始します。

中継局スムーズサーチ（4 アンテナ用）：

受信中の番組が12セグからワンセグに切り替わった場合、その地域の中継局を自動でサーチします。受信中の番組が受信不可となる前に、受信状態が良好な中継局の番組に自動的に切り替わります。また、受信不可になると自動で中継局／系列局をサーチします。

「1セグ／地デジ切替」が「地デジ固定」の場合は本機能は動作しません。

MEMO

- 工場出荷時、「放送局自動サーチ設定」は「中継局＋系列局サーチ」に設定されています。
- 中継局スムーズサーチは、放送局から送られてくる情報をもとにサーチ先を決定しています。そのため、新規に追加された中継局などは、サーチ対象とならない場合があります。

優先エリアを切り替える

県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。

優先地域と郵便番号は「自宅」と「お出かけ」でそれぞれ設定できます。

1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**

2 **画面をタッチ**

3 **メニュー** ▶ **設定**

4 **自宅エリア・郵便番号設定**

(自宅モード中) または

お出かけエリア・郵便番号設定

(お出かけモード中)

5 優先させたい地域を選択**6 郵便番号を入力 ▶ 決定****7 はい または いいえ**

はい をタッチすると、オートプリセット(P.146)が開始されます。**いいえ** をタッチすると、オートプリセットを行わず、テレビ画面に切り替わります。

MEMO

- 工場出荷時、地域および郵便番号は設定されていません。
- エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合には、「設定しない」を選択してください。

放送メールを表示する

放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。

- 1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**
- 2 **画面をタッチ**
- 3 **メニュー** ▶ **設定**
- 4 **放送メール**

放送メール一覧画面が表示されます。
すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

- 5 **メールを選択** ▶ **決定**

選択した放送メールの内容が表示されます。

MEMO

- 放送メールの内容が複数ページあるときは、**▲ ▼** で画面をスクロールして表示します。
- 放送メールを選択して消去することができます。手順 5 で **消去** をタッチし、確認画面で **はい** をタッチしてください。また、すべての放送メールを一括で消去することもできます。
- 受信した放送メールは最大 8 個まで保存されます。8 個以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に消去されます。一番古いメールが未読状態でも消去されます。
- 放送メールの受信が 1 通もない場合、**放送メール** はタッチできません。

B-CAS カード情報を確認する

- 1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**
- 2 **画面をタッチ**
- 3 **メニュー** ▶ **設定**
- 4 **B-CASカード情報**

B-CAS カード ID の確認画面が表示されます。

MEMO

- テスト** をタッチすると、B-CAS カードの通信テストを行います。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容に当たって対処してください。
- B-CAS カード未挿入時には、カード ID の確認画面の各項目には「―――」が表示されます。

地上デジタル放送の設定情報を初期化する

- 1 **AUDIO** ▶ **Digital TV**
- 2 **画面をタッチ**
- 3 **メニュー** ▶ **設定**
- 4 **設定情報初期化**

- 5 **初期化したい設定情報を選択**



消去の確認画面が表示されます。

受信メール消去：

放送メールをすべて消去します。

自宅エリア設定消去：

自宅モードの地域と郵便番号設定を消去します。

お出かけエリア設定消去：

お出かけモードの地域と郵便番号設定を消去します。

各種設定項目の初期化：

設定メニューで設定した項目を初期化します。プリセットチャンネルリストおよび画質調整設定の初期化、放送メールの消去は行いません。

全データの消去・初期化：

設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。また、放送メールをすべて消去します。画質調整の設定は初期化されません。

6**はい**

選択した各設定が初期化されます。

MEMO

初期化メッセージ表示中には、エンジンキーをOFFにしないでください。初期化中にエンジンキーをOFFにした場合、初期化できないことがあります。

映像／音声のずれを補正する

12セグ／ワンセグ自動切り替え時の映像／音声のずれを軽減します。

1**AUDIO ▶ Digital TV****2****画面をタッチ****3****メニュー ▶ 設定****4****遅延補正****MEMO**

工場出荷時、遅延補正は「ON」に設定されています。

地上デジタル放送の画質を調整する**1****AUDIO ▶ Digital TV****2****画面をタッチ****3****メニュー ▶ 設定****4****画質調整****5****調整する項目を選択****明るさ：**

明るさを調整します。

色合い：

色味を調整します。

色の濃さ：

色の濃さを調整します。

コントラスト：

明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：

黒レベルを調整します。

6**－ または ＋**

画面の映像を見ながら画質を調整します。

7**戻る**

調整した画質に設定されます。

MEMO

画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVDを見る

CD、ディスク(MP3・WMA)の音楽を聴く

Music Rackを使う

SDカード／USBメモリーの音楽を聴く

iPodを聴く／iPodビデオを見る

Bluetoothオーディオを聴く

DVD を見る

本機では、市販されている DVD ビデオ、またご家庭などで録画された DVD-VR をお楽しみいただけます。DVD ビデオと DVD-VR では操作方法が異なります。ご利用になる DVD の種類に該当する箇所を参照ください。

利用できる DVD については、「ディスクについて」(P.126) を参照してください。

DVD を再生する

警告

- 運転者が DVD の映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみ DVD の映像をご覧ください。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

MEMO

市販の DVD (DVD ビデオ) とご家庭で録画された DVD (DVD-VR) の画面は異なります。

市販の DVD (DVD ビデオ) の再生

1 DVD ビデオをセットする、または

AUDIO ▶ DVD/CD

本機にセットされた DVD ビデオが再生されます。



画面のキーに触れないまま 5 秒が経過すると、画面に表示されているキーが非表示になります。

再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO

手動でキーを非表示にするには、**戻る** をタッチします。

ご家庭で録画した DVD (DVD-VR) の再生

1 DVD-VR をセットする、または

AUDIO ▶ DVD/CD

本機にセットされた DVD-VR が再生されます。



画面のキーに触れないまま 5 秒が経過すると、画面に表示されているキーが非表示になります。

再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO

手動でキーを非表示にするには、**戻る** をタッチします。

再生を停止する

1 再生中に ▶/II (長押し)

MEMO

- 停止中に **▶/II** をタッチすると、再生がはじまります。
- 停止中に **▶/II** をタッチし続けると、再生が完全に停止します。次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

1 再生中に

MEMO

- 一時停止中に  をタッチし続けると、再生が停止します。
- 一時停止中に交通情報を聞くと、一時停止が解除され、再生がはじまります。
- DVD ビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。そのような場合は、**メニュー操作** をタッチして、DVD メニューの操作キーから操作を行ってください。

前／次のチャプターを再生する

1 または

MEMO

-  を押すとチャプターの先頭に戻り、さらに  を押すごとに前のチャプターに移動します。
-  を押すごとに次のチャプターに移動します。

早戻し／早送りする

1 再生中に (早戻し) または (早送り) (長押し)

MEMO

-  、 から指を離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

1 再生中に (長押し)

MEMO

-  から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「スロー再生 1/4」と表示されます。

リピート再生をする

1 つのチャプターまたはタイトルを繰り返して再生 (リピート再生) できます。

MEMO

DVD-VR でプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生を行えません。

-   
- 
 リピート再生がはじまります。

MEMO

通常再生に戻す場合は、 を再度タッチします。

メニューから再生する (DVD ビデオ)

DVD ビデオディスクには、そのディスク特有の DVD メニュー (ディスクメニュー) が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、見たい映像をすぐに再生できます。
表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

-   

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

2

メニュー操作

MEMO

「現在その操作はできません」と表示された場合は、DVD ビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

3

[トップメニュー](#) または [メニュー](#)

トップメニューまたは再生中のチャプターのメニューが表示されます。

4

▲、◀、▶、▼ でメニューを
選択 ▶ 決定



選択したメニュー項目が再生されます。

MEMO

10キー をタッチすると、メニュー番号を直接入力してメニュー項目を選択できます。

タイトルリストから再生する (DVD-VR)

1

AUDIO ► DVD/CD

2

リスト

3

見たいタイトルを選択



4

戻る

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

プレイリストから再生する (DVD-VR)

プレイリストとは、DVD 映像をお好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルです。

1

AUDIO DVD/CD

2

プレイリスト (ランプの点灯を確認)

3

リスト

4

見たい項目を選択



選択した項目が再生されます。

MEMO

番号指定 をタッチしてプレイリスト番号を入力すると、入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

5

戻る

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

MEMO

プレイリスト をタッチするたびに、タイトルリスト表示とプレイリスト表示が切り替わりま
す。プレイリスト のランプが点灯した状態で
リスト をタッチすると、プレイリストが表示
されます。

静止画の切り替えをする (DVD-VR)

1つのチャプターに複数の静止画が記録されている場合、静止画の切り替えを行うことで、チャプター内の静止画が再生できます。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 静止画切替

MEMO

静止画切替 は静止画再生時のみ表示されます。

タッチするたびにチャプター内の静止画が切り替わります。

MEMO

- 静止画切替 をタッチしてもほかのチャプターの静止画は再生されません。ほかのチャプターは (◀◀) (▶▶) を押して再生してください。
- チャプター内に静止画が1枚しか収録されていない場合などは、「現在その操作はできません」というメッセージが表示されます。

タイトル・チャプター番号を入力して再生する (DVD ビデオ)

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 設定 ▶ 10キーダイレクト入力

3 タイトル番号・チャプター番号を入力



チャプター：

チャプター番号を入力するときにタッチします。

タイトル：

タイトル番号を入力するときにタッチします。

4 決定 ▶ 戻る ▶ 戻る

入力したタイトルまたはチャプターが再生されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVDを見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rackを使う

SDカード／USBメモリーの音楽を聴く

iPodを聴く／iPodビデオを見る

Bluetoothオーディオを聴く

DVD の設定をする

字幕言語・音声言語・アングルを切り替える (DVD ビデオ)

DVD に字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

- 1 AUDIO ▶ DVD/CD
- 2 設定 ▶ 音声・字幕・アングル
- 3 音声、字幕、アングル

タッチするたびに音声言語、字幕言語、アングルの設定が切り替わります。

MEMO

- ・設定できる言語はディスクによって異なります。
- ・初期設定 (P.160) で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- ・「OFF」で字幕を非表示にできます。

- 4 戻る

設定が確定します。

字幕表示・音声を切り替える (DVD-VR)

DVD に字幕、複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

- 1 AUDIO ▶ DVD/CD
- 2 設定 ▶ 音声・字幕
- 3 音声 または 字幕

タッチするたびに音声または字幕の設定が切り替わります。

MEMO

- ・設定できる音声はディスクによって異なります。

- 4 戻る

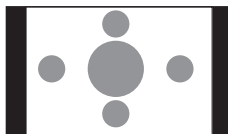
設定が確定します。

画面サイズを切り替える

- 1 AUDIO ▶ DVD/CD
- 2 設定 ▶ 画面切替
- 3 画面サイズを選択

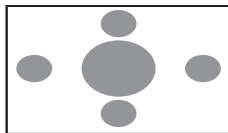


ノーマル：



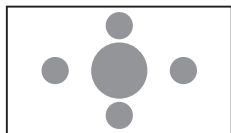
映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



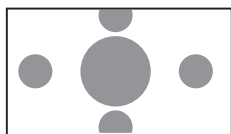
映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

ワイド：



映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。

シネマ：



シネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

4

戻る

画質を調整する

DVD ビデオ、DVD-VR の画質をお好みで調整できます。

1

AUDIO



DVD/CD

2

設定



画質調整

3

調整する項目を選択



明るさ：

明るさを調整します。

色合い：

色味を調整します。

色の濃さ：

色の濃さを調整します。

コントラスト：

明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：

黒レベルを調整します。

4

－ または ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5

戻る

調整した画質に設定されます。

MEMO

画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

状態表示を設定する

DVD の再生画面に、常に再生状態（チャプター番号、再生時間）を表示できます。

1

AUDIO



DVD/CD

2

DVD ビデオ：設定



初期設定

3

DVD-VR：設定

3

常に状態を表示する

再生状態の表示が設定されます。



MEMO

再生状態の表示を解除する場合は、
常に状態を表示する を再度タッチします。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

DVD ビデオの初期設定を変更する

MEMO

- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVD の再生は停止します。設定終了後は、DVD の再生がはじまりますが、設定内容によって再生がはじまる位置が異なります。(DVD の先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生がはじまることもあります)
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生がはじまります。

モニターサイズを設定する

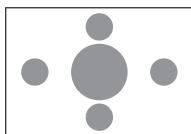
- 1 AUDIO ▶ DVD/CD
- 2 設定 ▶ 初期設定
- 3 モニターサイズ設定



- 4 モニターサイズを選択

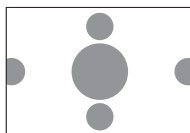


ワイド：



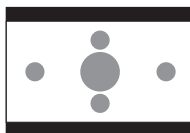
映像が画面にぴったり収まります。映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。

パンスキャン：



画面の上下と映像の高さが合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。

レターボックス：



画面の横幅と映像の幅が合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

MEMO

収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

優先する言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。

MEMO

本設定は、DVD 再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

- 1 AUDIO ▶ DVD/CD
- 2 設定 ▶ 初期設定
- 3 メニュー言語、音声言語、字幕言語

いずれかのキーをタッチすると、言語のリストが表示され、再生時に優先する言語を選択できます。

- 4 言語を選択

MEMO

各言語は、英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語から選択できます。字幕言語では「OFF」を選択し、字幕を非表示にできます。

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。

■ 視聴制限（パレンタルレベル）について

DVD ビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。パレンタルレベルはレベル1～8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できないことがあります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル4～8」の場合のみ、再生できます。

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル1～3」の場合は、再生しようすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。また、パレンタルレベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。

MEMO

- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。
- パレンタルレベルの設定をする場合は、パスワードの設定が必要です。
- 視聴制限をかけない場合は、パレンタルレベルの設定は必要ありません。
パレンタルレベルの初期設定は「OFF」で、すべてのDVDビデオに対して視聴制限のない状態になっています。

■ パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。

- AUDIO ▶ DVD/CD
- 設定 ▶ 初期設定
- パスワード
- パスワードを入力 ▶ 決定

入力されたパスワードは、「****」と表示されます。

新規パスワード設定の場合→手順7へ

- パスワードの変更
- 新しいパスワードを入力 ▶ 決定
- 再度同じパスワードを入力 ▶ 決定

新しいパスワードが設定されます。

MEMO

- パスワードは初期設定では「未設定」となっています。パレンタルレベルの設定変更をよく行う場合は、パスワードの消去を行いパスワードの設定を「未設定」にしておくでパスワード入力の手間を省けます。
- パスワードを消去するには、パスワード編集画面で **パスワードの消去** をタッチします。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVDを見る

CD、ディスク(MP3・WMA)の音楽を聴く

Music Rackを使う

SDカード/USBメモリーの音楽を聴く

iPodを聴く/iPodビデオを見る

Bluetoothオーディオを聴く

■ パレンタルレベルを設定する

- 1 AUDIO ▶ DVD/CD
- 2 設定 ▶ 初期設定
- 3 視聴制限 (パレンタルレベル)
- 4 パスワードを入力 ▶ 決定
- 5 パレンタルレベルを選択

パレンタルレベルが設定されます。

MEMO

OFF をタッチすると、パレンタルレベルは設定されず、すべての DVD ビデオのパレンタルレベルに対して視聴制限が解除されます。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVD のカントリーコードを設定する必要があります。カントリーコードは、国を識別するためのコードです (P.229)。

- 1 AUDIO ▶ DVD/CD
- 2 設定 ▶ 初期設定
- 3 カントリーコード
- 4 DVD に記録してある国または地域のカントリーコードを入力 ▶ 決定

カントリーコードが設定されます。

MEMO

初期状態では、「7480 (JAPAN)」が設定されています。

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

本機では、音楽 CD のほかに、MP3・WMA 形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。

利用できる CD、MP3、WMA 形式の音楽データを保存したディスクについては、「ディスクについて」(P.126)を参照してください。

ディスクを再生する

MEMO

- 以下のディスクを再生すると、アーティスト名、トラックタイトルなどの情報が表示されます。
- 本機内蔵のデータベース「Gracenote Music Recognition ServiceSM」(P.231)から情報が取得できる音楽 CD
- CD-TEXT の入ったディスク
- ID3 タグ、WMA タグの入ったディスク
- 上記以外のディスクを再生した場合は、「Track01」などの番号のみ表示されます。
- ノンストップ CD (トラックとトラックがつながっている CD) を再生した場合、トラックとトラックの間に 2～3 秒の無音部分が発生します。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

MP3・WMA のディスクを再生する

1 MP3/WMA ディスクをセットする、または **AUDIO** ▶ **DVD/CD**

本機にセットされたディスクが再生されます。



早戻し／早送りする

1 再生中に **⏮** (早戻し) または **⏭** (早送り) (長押し)

MEMO

⏮、**⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

CD を再生する

1 CD をセットする、または

AUDIO ▶ **DVD/CD**

本機にセットされた CD が再生されます。



MEMO

本機に SD カードがセットされている場合、操作パネルが完全に閉じるまで再生は始まりません。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に **⏮** または **⏭**

MEMO

- ⏮** を押すとトラックの先頭に戻り、さらに **⏮** を押しすごとに前のトラックに移動します。
- ⏭** を押しすごとに次のトラックに移動します。

前／次のフォルダを再生する (MP3/WMA のみ)

- 1 再生中に **前フォルダ** または **次フォルダ**

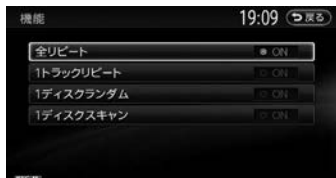
MEMO

前フォルダ、**次フォルダ** をタッチするごとに、前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・ランダム・スキャン再生をする

- 1 **AUDIO** ▶ **DVD/CD**
- 2 **機能**
- 3 目的の項目を選択

CD 画面



全リピート：

ディスク内の全トラックをリピート再生します。

1 トラックリピート：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

1 ディスクリンダム：

現在再生中の CD の全トラックをランダムに再生します。

1 ディスクスキャン：

現在再生中の CD の各トラックの出だしを 10 秒間ずつ再生します。

MP3/WMA 画面



全リピート：

ディスク内の全トラックをリピート再生します。

1 フォルダリピート：

現在再生中のフォルダ全体をリピート再生します。

1 トラックリピート：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

1 ディスクリンダム：

ディスク内の全トラックをランダムに再生します。

1 フォルダランダム：

現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生します。

1 ディスクスキャン：

ディスク内の全トラックの出だしを 10 秒間ずつ再生します。

タイトルリストから再生する

MEMO

走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1

AUDIO

DVD/CD

2

(MP3/WMA の場合)

再生中のフォルダを選択

再生中のトラックリストが表示されます。

(CD の場合)

トラックリストが表示されます。

MEMO

再生中以外のフォルダを選択した場合は、フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

3

トラックを選択

CD 画面



MP3/WMA 画面



選択したトラックから再生がはじまります。

MP3/WMA 画面で、右にリスト表示されるフォルダをタッチすると、フォルダ内のトラックがリスト表示されます。トラックをタッチすると選択したトラックが再生されます。



オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

Music Rack を使う

本機では、CD の曲を本機で SD カードに録音して再生できる Music Rack をお楽しみいただけます。Music Rack で利用できる SD カードについては、「SD カード／USB メモリについて」(P.128)を参照ください。

Music Rack に録音する

Music Rack とは、CD のトラック (音楽) を SD カードへ録音し、再生する機能のことです。全トラックを録音しておけば、CD を本機にセットすることなくお楽しみいただけます。また、以降の録音は不要です。

録音する前にお読みください

Music Rack を使用するには SD カードが必要です。

録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。

万が一、本機の故障や誤作動および不具合により録音に支障が生じた場合でも、録音内容および消失した録音データについては補償ができません。ご容赦願います。

録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使えません。ノンストップ CD (トラックとトラックがつながっている CD) を録音に使用された場合、トラックとトラックの間に 2 ～ 3 秒の無音部分をはさんで録音します。

録音についてのご注意

■ 録音時の状態について

以下のような場合には、音声途切れたり音が飛んで録音されることがあります。

- ・ 録音中に CD の音が飛んだ
- ・ 傷があるなど CD の状態が悪い
- ・ 録音中に振動の激しい悪路を走行した

■ 録音中の操作について

録音中は、他のトラックの再生はできません。また、録音中に以下の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。録音を中止する場合は **はい** を、続行する場合は **いいえ** をタッチします。

- ・ **REC** をタッチする

- ・ リピート／スキャン／ランダム再生
- ・ SD カードを使用した操作 (データの取り込み／書き出しなど)
- ・ Music Rack、SD メモリーカードを選択したとき

MEMO

- ・ 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。
- ・ 録音中は操作パネルを開閉することはできません。録音中に  を押すと、「SD メモリーカード書き込み中のためオープンできません」というメッセージが表示されます。操作を継続される場合はその指示にしたがってください。

録音中にエンジンキーを OFF にすると、録音中のトラックが消えます。

次回エンジンキーを「ACC」、または「ON」にすると、前回録音していたトラックの先頭から録音が始まります。

録音する

- 1 CD 再生中に **REC**
- 2 希望の録音速度を選択



1 倍速で録音：

録音速度を1倍速に設定します。

2 倍速で録音：

録音速度を2倍速に設定します。録音中は、CDを聴くことはできません。

- 3 希望の録音方法を選択

全曲録音：

再生中のCDのすべてのトラックを録音できます。アルバムの先頭から録音されていないトラックの録音がはじまります。

現在の曲を録音：

再生中のトラックを録音できます。トラックの先頭に戻り、録音がはじまります。

曲を指定して録音：

録音したいトラックをリストから複数選択して録音できます。リストからトラックを選択して **録音開始** をタッチすると、先頭に近い曲から順に録音がはじまります。

MEMO

録音モード選択画面にディスクの情報やSDカードの情報が表示されます。SDカードの空き容量が1MB未満の場合、空き容量に「1MB未満です」と表示されます。

Music Rack について

Music Rack の仕様は、以下のとおりです。

録音可能トラック数

最大4000トラック（アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できるトラック数：最大99トラック）

※ただし、SDカードの容量により録音できるトラック数は異なります。16GBのSDカードではおよそ4000トラックです。

録音できる音源音楽

音楽CDのみ（P.126）

音質

ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。CDの音質を損なわず、容量を約1/10に圧縮できます。

本機は、SCMS（Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号どうしのコピーを〈1世代まで〉と規制しております。

したがって、以下の操作を本機で行えません。

- 本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
- デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVDを見る

CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く

Music Rackを使う

SDカード／USBメモリーの音楽を聴く

iPodを聴く／iPodビデオを見る

Bluetoothオーディオを聴く

タイトル表示について

CD を Music Rack に録音すると、本機内蔵の Gracenote Music Recognition ServiceSM のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。

CD や曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

情報を取得できなかった CD には録音した日付が表示されます。

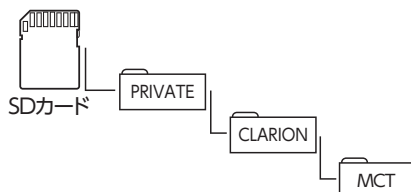
MEMO

Gracenote Music Recognition ServiceSM のデータベースは、インターネット上の Gracenote データベースから最新の情報に更新できます (P.173)。

録音した音楽データについて

■ 録音した音楽データのバックアップ

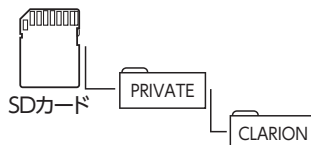
録音した音楽データは SD カード内の以下のフォルダに保存されます。



お使いのパソコンに、このフォルダをそのまま保存することでバックアップできます。

■ バックアップした音楽データの復元

バックアップした音楽データフォルダ ("MCT") を SD カード内の下記フォルダに書き戻すことで復元できます。



このとき、すでに上記フォルダ内に "MCT" フォルダが存在する場合は、バックアップまたは消去してください。

MEMO

- "MCT" フォルダ内に存在するファイルおよびフォルダの消去や変更は絶対に行わないでください。Music Rack が正常に動作しなくなる可能性があります。
- SCMS (P.167) では、デジタル信号どうしのコピーを (1 世代まで) と規制しています。音楽データのバックアップや復元は、録音データ保存以外の目的では行わないでください。

Music Rack を聴く

MEMO

走行中は、操作できる項目が限定されます。

Music Rack を再生する

1 SD カードを本機にセット

2 AUDIO ▶ Music Rack

Music Rack 内のトラックが再生されます。



MEMO

- 録音中は Music Rack の再生は行えません。録音中に **Music Rack** をタッチすると、「録音中です。録音を中止してもよろしいですか？」という確認画面が表示されます。再生したい場合は、**はい** を押して録音を中止してください。
- 再生中に操作パネルを開くと、再生が停止します。
- 再生時間は、録音元の CD とは異なります。

早戻し／早送りする

1 再生中に ◀◀ (早戻し) または ▶▶ (早送り) (長押し)

MEMO

◀◀、▶▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ◀◀ または ▶▶

◀◀ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ◀◀ を押すごとに前のトラックに移動します。

▶▶ を押すごとに次のトラックに移動します。

前／次のアルバムを再生する

1 再生中に 前アルバム または 次アルバム

MEMO

前アルバム、次アルバム をタッチするごとに、前／次のアルバムに移動し、アルバム内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 機能

3 目的の項目を選択



選択した動作での再生がはじまります。

全リピート：

全アルバムの全トラックをリピート再生します。

1 アルバムリピート：

現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。

1 トラックリピート：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

全トラックランダム：

全アルバムの全トラックをランダムに再生します。

1 アルバムランダム：

現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

全トラックスキャン：

全アルバムの各トラックの出だしを 10 秒間ずつ再生します。

リストから再生する

Music Rack のリストからアルバムやトラックを選択して再生できます。

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 再生中のアルバム名を選択

トラックリストが表示されます。

MEMO

再生中以外のアルバムを選択した場合は、アルバムリストが表示されたまま先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じアルバムを選択します。

3 トラックを選択



選択したトラックが再生されます。

アーティスト名から再生する

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 設定 ▶ アーティスト検索

3 アーティスト名を選択

4 アルバムを選択

選択したアルバムの先頭から再生がはじまります。

MEMO

選択演奏(P.171)中は、選択演奏の対象となっているアーティストまたはアルバムのみが検索対象となります。

条件から複数のアルバムを選んで再生する

複数のアルバムを指定して再生できます。
アルバムリストからアルバムを指定する方法と、アーティストのすべてのアルバムを指定する方法があります。

- 1 AUDIO ▶ Music Rack
- 2 設定 ▶ 選択演奏
- 3 アルバム選択 または
アーティスト選択



アルバム選択：

リスト表示されたアルバムから複数のアルバムを指定できます。

アーティスト選択：

リスト表示されたアーティストのすべてのアルバムを指定できます。

選択演奏解除：

選択演奏設定を解除できます。**選択演奏解除**は、選択演奏が設定されているときのみ表示します。

- 4 アルバムまたはアーティスト名を選択 ▶ 決定

選択した項目が再生されます。

MEMO

決定 をタッチした直後は、SD カードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できないことがあります。

録音設定を変更する

Music Rack に CD を録音するには、自動と手動の 2 つの方法があります。

自動録音に切り替える

- 1 MENU ▶ 設定
- 2 オーディオ ▶ 録音設定
- 3 挿入と同時に録音:1倍速 または
挿入と同時に録音:2倍速



挿入と同時に録音：1 倍速：

CD 挿入時に 1 倍速で CD が録音されます。

挿入と同時に録音：2 倍速：

CD 挿入時に 2 倍速で CD が録音されます。
2 倍速で録音中は、CD を聴くことはできません。

自動で録音する

- 1 SD カードを本機にセット
- 2 CD を再生する

自動的に録音がはじまります。

MEMO

- 録音時は、画面左下に **REC×1** または **REC×2** が表示されます。
- すでに CD 全曲の録音が済んでいる場合は、録音を行いません。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

アルバム・トラック情報を編集する

MEMO

- ・選択演奏中および録音中は、**タイトル編集** は選べません。タイトルやトラック名を編集したいときは、選択演奏を解除してください。
- ・アルバム・トラック情報の編集や操作直後は、SD カードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できないことがあります。

アルバム名、アーティスト名を編集する

- 1 **AUDIO** ▶ **Music Rack**
 - 2 **設定** ▶ **タイトル編集**
 - 3 **アルバムを選択**
 - 4 **アルバム** または **アーティスト**
 - 5 **アルバム名またはアーティスト名を入力** ▶ **決定**
- 編集後のアルバム名、アーティスト名を確認できます。

MEMO

アルバム名、アーティスト名は全角・半角で 20 文字まで入力できます。

アルバムを消去する

MEMO

一度消去したアルバムは元に戻せません。

- 1 **AUDIO** ▶ **Music Rack**
 - 2 **設定** ▶ **曲の消去**
 - 3 **消去するアルバムを選択** ▶ **決定**
- ### MEMO

複数のアルバムを選択できます。
- 4 **はい**
- 選択したアルバムが消去されます。

アルバムの再生順序を並べ替える

- 1 **AUDIO** ▶ **Music Rack**
 - 2 **設定** ▶ **アルバム並べ替え**
 - 3 **移動させたいアルバムを選択**
 - 4 **移動先を選択**
- 選択した位置にアルバムが移動します。
確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生がはじまります。

トラック名を編集する

トラック名を編集できます。

- 1 **AUDIO** ▶ **Music Rack**
 - 2 **設定** ▶ **タイトル編集**
 - 3 **編集するトラックを含むアルバムの詳細**
- トラックリストが表示されます。
- 4 **トラックを選択**
 - 5 **トラック名を入力** ▶ **決定**
- 編集後のトラック名を確認できます。

MEMO

トラック名は全角・半角で 20 文字まで入力できます。

トラックを消去する

MEMO

一度消去したトラックは元に戻せません。

- 1 **AUDIO** ▶ **Music Rack**
- 2 **設定** ▶ **曲の消去**
- 3 消去するトラックを含むアルバムの
詳細
トラックリストが表示されます。
- 4 消去するトラックを選択 ▶ **決定**
MEMO
複数のトラックを選択できます。
- 5 **はい**
選択したトラックが消去されます。

アルバム情報の書き出し／取り込み

■ アルバム情報の更新について

新譜など、本機に内蔵のデータベースにアルバム情報が含まれていない場合は、曲名などが正しく表示されないことがあります。その際は、SDカードとパソコンを使用して、Gracenote サーバーから最新のアルバム情報を取得してください。本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するための PC 用アプリケーション「ナビマスター S」が必要になります (P.200)。

本機にて、SD カードへアルバム情報を書き出します。

お使いのパソコンにて、「ナビマスター S」の CD タイトルキャッチャー機能を使用し、SD カードへアルバム情報を保存します。

本機にて、SD カードからアルバム情報を取り込みます。

アルバム情報が更新されます。「ナビマスター S」画面上のヘルプボタンを押すと CD タイトルキャッチャー機能を参照できます。

■ アルバム情報を書き出す

- 1 **AUDIO** ▶ **Music Rack**
- 2 **設定** ▶ **アルバム情報の書き出し**
- 3 アルバムを選択 ▶ **決定**
- 4 **はい**
選択したアルバム情報が SD カードに書き出されます。

■ アルバム情報を取り込む

- 1 **AUDIO** ▶ **Music Rack**
- 2 **設定** ▶ **アルバム情報の取り込み**
- 3 **はい**
SD カード内のアルバム情報が本機に取り込まれます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード／USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く／iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

SD カード／USB メモリーの音楽を聴く

本機では、お手持ちの SD カードや USB メモリーに保存した音楽を聴くことができます。

利用できる SD カード、USB メモリーについては、「SD カード／USB メモリーについて」(P.128) を参照してください。

⚠ 注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB メモリーが接続されているときに、USB メモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

SD カード／USB メモリーの音楽を再生する

SD カードを本機にセット、または別売の USB 接続ジャックに USB メモリーを接続することで、パソコンで編集した MP3/WMA 形式の音楽データを本機で再生することができます。

MEMO

- 本機に iPod を接続している場合は、USB メモリーはご利用になれません。
- SD カードおよび USB メモリー内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。

SD カードを再生する

1 SD カードをセット

2 AUDIO ▶ SDメモリーカード

SD カードのオーディオが再生されます。



MEMO

Music Rack の録音中は SD カードの再生は行えません。録音中に **SDメモリーカード** をタッチすると、「録音中です。録音を中止してもよろしいですか？」という確認画面が表示されます。

USB メモリーを再生する

1 USB メモリーを接続する、または

AUDIO ▶ USB/iPod

USB メモリーのオーディオが再生されます。



早戻し／早送りする

1 再生中に ◀◀ (早戻し) または

▶▶ (早送り) (長押し)

MEMO

◀◀、▶▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ◀◀ または ▶▶

MEMO

- ◀◀ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ◀◀ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ▶▶ を押すごとに次のトラックに移動します。

フォルダ／トラックを選んで再生する

MEMO

走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 AUDIO ▶ SDメモリーカード

または USB/iPod

2 再生中のフォルダを選択

トラックリストが表示されます。

MEMO

再生中以外のフォルダを選択した場合は、フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

3 トラックを選択



選択したトラックから再生がはじまります。

前／次のフォルダを再生する

1 再生中に 前フォルダ または

次フォルダ

MEMO

前フォルダ、次フォルダ をタッチするごとに、前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 AUDIO ▶ SDメモリーカード

または USB/iPod

2 機能

3 目的の項目を選択



全リピート：

全トラックをリピート再生します。

1 フォルダリピート：

現在再生中のフォルダ全体をリピート再生します。

1 トラックリピート：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

全トラックランダム：

全トラックをランダムに再生します。

1 フォルダランダム：

現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生します。

全トラックスキャン：

全トラックの出だしを 10 秒間ずつ再生します。

MEMO

全トラックランダム は、フォルダがランダムに選択され、そのフォルダ内のトラックからさらにランダムで選択された曲が再生されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード／USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く／iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

iPod を聴く／iPod ビデオを見る

本機では、iPod を接続して iPod 内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。別売の iPod 接続コードを使用して接続してください。(iPod に付属の接続コードは、ご使用できません。)

⚠ 注意

- iPod を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

本機は第 5 世代 iPod、iPod classic[®]、iPod nano[®]、iPod touch[®]、iPhone[®] 3G、iPhone 3GS、iPhone 4 に対応しています。

詳細は以下の表を参照ください。なお、iPod は本機に付属していません。お手持ちの iPod をお使いください。

iPod ビデオを視聴するには、別売の iPod 接続コードのビデオ端子を、別売の VTR コードに接続、USB 端子は別売の USB 接続ジャックに接続します。USB 端子の差込部は、車両ごとに取付位置が異なります。本機で iPod をご使用になるときは、iPod のファームウェアを最新にしてください。

接続できる iPod

Made for



iPod



iPhone

接続可能な iPod	備考
iPod (第 5 世代)	ビデオ再生可
iPod classic (80GB、120GB、160GB) * ¹	ビデオ再生可
iPod nano (第 1 世代、第 2 世代)	
iPod nano (第 3 世代、第 4 世代* ¹ 、第 5 世代)	ビデオ再生可
iPod nano (第 6 世代)	
iPod touch (第 1 世代* ² 、* ³)	ビデオ再生不可
iPod touch (第 2 世代、第 3 世代、第 4 世代)	ビデオ再生可
iPhone 3G/iPhone 3GS/iPhone 4	ビデオ再生可

*¹ 1 ビデオファイルのみ保存している場合、iPod が認識されない場合があります。一つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。

*² 2 ファームウェア 2.0 以降では、ビデオを再生することができます。ファームウェアが 2.0 より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。

*³ 3「On-The-Go」は再生できません。iTunes[®] と同期後はプレイリストとして再生できます。

MEMO

- iPad/iPad2 には対応していません。
- iPod の動作についてはすべてを保証するものではありません。
- iPod の接続対象機種一覧に記載があっても、ファームウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- 本機と接続するときは、iPod のヘッドフォンなどのアクセサリを使用しないでください。
- iPod の機種やファームウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。

最新機種の情報について詳しくは、以下を参照ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist>

MEMO

- iPod の動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することによって操作可能になる場合があります。
- iPod のトラックリピート機能を設定している場合、もしくは、iPod のシャッフル機能を設定している場合は、iPod の機種やファームウェアバージョンによっては、本機の機能の一部が正しく動作しない場合があります。その場合は、設定解除をしてからご利用ください。
- iPod の機種によっては再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機から iPod を取り外して再度接続してください。
- iPod が操作不能になった場合は、iPod 本体をリセットし、再度接続してください。

リセット方法の例

- iPod の場合：「センター」ボタンと「メニュー」ボタンを Apple のロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
- iPod touch の場合：「スリープ/スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Apple のロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
※ iPod をリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod 単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。
- 車のエンジンキーを OFF にした後は、必ず iPod を取り外してください。接続したままでは iPod の電源が切れない場合があるため、iPod の電源を消耗するおそれがあります。
- iPod touch または、iPhone を Bluetooth 接続している状態で、Bluetooth オーディオ再生または、ハンズフリー通話を行うと、iPod モードで音声が出力されないことがあります。iPod touch、iPhone 本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）を Bluetooth（MY-CAR）から Dock コネクタへ切り替えてください。または、一度本機から iPod を取り外して再度接続してください。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード／USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く／iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

iPod を再生する

接続方法については、クイックガイドを参照してください。

⚠ 注意

走行中は、iPod 本体の操作は行わないでください。

MEMO

- 万が一 iPod が操作不能になってしまったときは iPod をリセットしてください。iPod のリセット方法は、iPod の取扱説明書などで確認してください。
- 本機にオーディオファイル再生中の iPod を接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ再生中の iPod を接続した場合は、ご使用の iPod により再生位置が異なることがあります。再生していたビデオを見る場合は、再度、ビデオファイルを選択してください。

MEMO

- iPod ビデオを視聴するには、別売の iPod 接続コードのビデオ端子を、別売の VTR コードに接続します。
- 本機と iPod の接続中は、iPod からは操作できません。
- iPod は、安全な場所に置いてご使用ください。
- 地図画面の AV 操作キーには「iPod」と表示されます。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

iPod を聴く

別売の iPod 接続コードを別売の USB 接続ジャックに接続すると、自動的に再生がはじまります。すでに接続されている場合は、以下の方法で再生します。

1

AUDIO



USB/iPod

iPod 内のトラックが再生されます。



iPod ビデオを見る

⚠ 警告

- 運転者が iPod ビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみ iPod ビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

MEMO

- OS のバージョンによっては、iPod ビデオ再生時に映像が表示されない場合があります。その際は、iPod 側でミュージックアプリケーションをフォアグラウンドにすることで症状が改善される場合があります。
- ファームウェアが 2.0 より古い iPod touch は、ビデオ再生に対応しておりません。
- あらかじめ、iPod の接続方法 (P.182) を「USB+VTR 接続 (アナログ音声)」に設定してください。
- 「USB + VTR 接続 (アナログ音声)」に設定している場合は、別売の iPod 接続コードのビデオ端子を、別売の VTR コードに接続する必要があります。

1

AUDIO



USB/iPod

iPod ビデオが再生されます。



MEMO

オーディオが再生された場合は、手動で iPod ビデオの映像に切り替えることができます。(P.203)。

早戻し／早送りする

1

再生中に (⏮) (早戻し) または

(⏭) (早送り) (長押し)

MEMO

(◀◀) 、 (▶▶) から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラック・チャプターを再生する

1 再生中に (◀◀) または (▶▶)

チャプターの存在するトラックを再生している場合は、前または次のチャプターの先頭トラックが再生されます。

MEMO

- (◀◀) を押すとトラックの先頭に戻り、さらに (◀◀) を押すごとに前のトラックに移動します。
- (▶▶) を押すごとに次のトラックに移動します。

リピート・シャッフル再生をする

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 機能

3 目的の項目を選択

iPod オーディオ画面



iPod ビデオ画面



MEMO

接続方法 をタッチすると、iPod の接続方法を設定できます (P.182)。

4 目的の項目を選択

シャッフル (オーディオのみ)



オフ：

シャッフル再生を解除します。

曲：

現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

アルバム：

全アルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

リピート



1 曲：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

すべて：

全アルバムの全トラックをリピート再生します。

選択した動作での再生がはじまります。

MEMO

- iPod の機種によっては、リピート再生ができない場合があります。
- シャッフル再生中に、iPod をビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

タイトルリストから再生する (オーディオ)

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 トラックを選択

選択したトラックが再生されます。

条件を指定して再生する (オーディオ)

さまざまな条件から iPod のトラックを探して再生できます。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 メニュー

MEMO

メニュー をタッチすると、最後に表示していたリスト画面が表示されるため、手順 4～手順 5 の画面に進む場合があります。このような場合、手順 3 の画面を表示させるには メニュー を長押ししてください。

3 ミュージック

4 希望の項目を選択

MEMO

選択できる項目は以下のとおりです。
プレイリスト／アーティスト／アルバム
／曲／Podcast／ジャンル／作曲家

目的のトラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返してください。

5 トラックを選択

選択した曲の再生がはじまります。

MEMO

- 手順 3～手順 5 で 再生中 をタッチすると、iPod オーディオ画面に切り替わります。また、手順 4～手順 5 で メニュー をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。押し続けると、手順 3 の画面に戻ります。
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。
- リスト表示中に何もタッチしないまま 10 秒が過ぎると、iPod 再生画面に戻ります。

条件を指定して再生する (ビデオ)

さまざまな条件から iPod ビデオのトラックを探して再生できます。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 メニュー

MEMO

メニュー をタッチすると、最後に表示していたリスト画面が表示されるため、手順 4～手順 5 の画面に進む場合があります。このような場合、手順 3 の画面を表示させるには メニュー を長押ししてください。

3 ビデオ

4 希望の項目を選択

MEMO

選択できる項目例：
ビデオプレイリスト／ムービー／ミュージックビデオ／テレビ番組／ビデオ Podcast／レンタルムービー
など

目的のトラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返してください。

5 トラックを選択

選択したトラックの再生がはじまります。

MEMO

- 手順3～手順5で **再生中** をタッチすると、iPod ビデオ画面に切り替わります。また、手順4～手順5で **メニュー** をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。押し続けると、手順3の画面に戻ります。
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。
- リスト表示中に何もタッチしないまま10秒が過ぎると、iPod ビデオ再生画面に戻ります。

iPod の設定をする

iPod ビデオの画質を調整する(ビデオ)

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 画質調整

3 調整する項目を選択



明るさ：

明るさを調整します。

色合い：

色味を調整します。

色の濃さ：

色の濃さを調整します。

コントラスト：

明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：

黒レベルを調整します。

4 - または +

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

MEMO

画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できません。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVDを見る

CD、ディスク(MP3・WMA)の音楽を聴く

Music Rackを使う

SDカード／USBメモリーの音楽を聴く

iPod を聴く／iPod ビデオを見る

Bluetoothオーディオを聴く

iPod の接続方法を切り替える

再生したいモードによって接続方法を設定する必要があります。iPod の接続方法を、「USB 接続」または「USB + VTR 接続（アナログ音声）」から選択します。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 機能 ▶ 接続方法

3 接続方法を選択



USB 接続：

音楽データをお聴きになる場合は、こちらの接続方法を選択します。

USB + VTR 接続（アナログ音声）：

iPod のビデオ映像を見る場合は、こちらの接続方法を選択します。

MEMO

- 接続方法を変更した場合は、一旦、iPod の USB コード接続を外し再度接続してください。
- 「USB + VTR 接続（アナログ音声）」に設定する場合は、別売の iPod 接続コードのビデオ端子を、別売の VTR コードに接続する必要があります。
- 「USB + VTR 接続（アナログ音声）」を選択している場合、オーディオとビデオの切り替えができます（P.178）。
- 「USB + VTR 接続（アナログ音声）」を選択すると、ソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR 機器のご利用はできません。
- 工場出荷時は「USB 接続」に設定されています。
- (MENU) ▶ 設定 ▶ その他設定 ▶ VTR接続設定 の順にタッチしても VTR 機能または iPod ビデオの接続を選択できます。

アルバムのジャケット写真を表示する

iPod に取り込まれているアルバムのジャケット写真を表示させることができます。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 機能 ▶ アルバムアートワークの表示



MEMO

ジャケット写真の取得には、数秒かかることがあります。

Bluetooth オーディオを聴く

Bluetooth に対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

⚠ 注意

ポータブル機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth オーディオを聴くには

はじめて Bluetooth オーディオを利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。Bluetooth については、**P.110** からの説明を参照ください。

MEMO

- Bluetooth 方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetooth オーディオ機器の種類によっては、ご利用にならない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
- Bluetooth オーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書を参照ください。
- Bluetooth オーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音とびが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
- 走行中はペアリングを実行できません。
- Bluetooth オーディオ対応の携帯電話を使用して電話関連機能やインターネット情報センターとの接続を実行している間は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetooth オーディオ機器は、ハンズフリー機器とあわせて 5 台までペアリングできます。すでに 5 台ペアリングされている場合は、ペアリングの情報を 1 台分消去してから、新しく登録する必要があります。
- iPhone を Bluetooth オーディオとして再生中、iPhone 側で Bluetooth 画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth 画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetooth オーディオは、本機からの自動接続を行いません。接続したいオーディオ機器を操作し、接続を行ってください。
- Bluetooth オーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロフィールを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロフィールの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声出力されない場合は、オーディオ機器からプロフィール切断を行い、再度接続操作を行ってください。
- Bluetooth オーディオ機器は必ず最新のソフトウェアバージョンにアップデートしてお使いください。詳しくはご使用の Bluetooth オーディオ機器の販売会社にお問合せください。
- インターネット情報センターとの接続やハンズフリー通話終了後、オーディオ再生が一時停止状態になるものがあります。AV コントロールパターの再生キーをタッチして再生を開始してください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ラジオを聴く

テレビを見る

DVD を見る

CD、ディスク (MP3・WMA) の音楽を聴く

Music Rack を使う

SD カード / USB メモリーの音楽を聴く

iPod を聴く / iPod ビデオを見る

Bluetooth オーディオを聴く

Bluetooth オーディオ機器を登録する (ペアリング)

- 1 (MENU) ▶ 設定 ▶ Bluetooth
- 2 機器登録 ▶ オーディオ機器
- 3 登録機器のパスキー入力
- 4 決定



5 Bluetooth 対応機器から登録操作

MEMO

- Bluetooth オーディオ機器からの登録操作については、Bluetooth オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。
- ペアリング完了後、Bluetooth オーディオ機器上で接続するプロファイルを選択する必要がある場合は、「オーディオ」を選択してください。詳しくは、Bluetooth オーディオ機器の取扱説明書を参照ください。

複数の Bluetooth オーディオ機器を使うには

Bluetooth オーディオ機器は、5 台までペアリングすることができます。6 台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を消去する必要があります。

複数の Bluetooth オーディオ機器を接続する場合は、使用する Bluetooth オーディオ機器を切り替えます。

- 1 (MENU) ▶ 設定 ▶ Bluetooth
- 2 機器の接続切替・編集・消去 ▶
オーディオ音楽再生
- 3 Bluetooth オーディオ機器選択

4 選択する

選択した機器が接続されます。

MEMO

消去する をタッチすると登録済みの Bluetooth オーディオ機器の登録を消去できます。

Bluetooth 対応携帯電話をご使用の場合

- Bluetooth オーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 携帯電話のメディアプレーヤーを停止した場合、Bluetooth オーディオが切断されることがあります。再度接続を行うには、携帯電話のメディアプレーヤーを起動後、「ヘッドフォン切替」などの設定で本機を選択してご使用ください。詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照ください。
- iPhone を Bluetooth オーディオとして再生中、iPhone 側で Bluetooth 画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth 画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetooth オーディオ機器の機種との適合性に関して、詳しくは Honda 販売店にお問合せください。

Bluetooth オーディオ機器を再生する

Bluetooth オーディオを再生する

1 AUDIO ▶ Bluetooth AUDIO

Bluetooth オーディオが再生されます。



MEMO

- 再生を一時停止するには **⏸** を、再開するには **▶** をタッチします。
- Bluetooth オーディオ機器の種類によって、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetooth オーディオ機器から操作してください。詳しくは、Bluetooth オーディオ機器の取扱説明書を参照ください。

早戻し／早送りする

1 再生中に **⏮** (早戻し) または **⏭** (早送り) (長押し)

MEMO

- ⏮**、**⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- Bluetooth オーディオ機器の種類によっては、本機からの操作ができないことがあります。その場合、Bluetooth オーディオ機器側から操作してください。詳しくは、Bluetooth オーディオ機器の取扱説明書を参照ください。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に **⏮** または **⏭**

MEMO

- ⏮** を押すとトラックの先頭に戻り、さらに **⏮** を押すごとに前のトラックに移動します。
- ⏭** を押すごとに次のトラックに移動します。
- Bluetooth オーディオ機器の種類によっては、本機からの操作ができないことがあります。その場合、Bluetooth オーディオ機器側から操作してください。詳しくは、Bluetooth オーディオ機器の取扱説明書を参照ください。

シャッフル再生をする

MEMO

- この機能は、AVRCP Ver1.3 以上に対応した Bluetooth オーディオ機器のみ使用できます。
- Bluetooth オーディオ機器の種類によって、シャッフル再生ができない場合があります。

- 1 AUDIO ▶ Bluetooth AUDIO
- 2 機能 ▶ シャッフル
- 3 目的の項目を選択



オフ：

全曲シャッフル、またはグループシャッフルを解除します。

全曲：

Bluetooth オーディオ内の全トラックをランダムに再生します。

グループ：

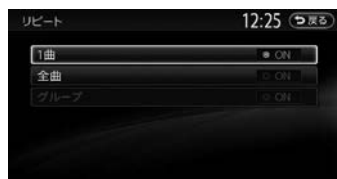
現在再生中のグループ内のトラックをランダムに再生します。

リピート再生をする

MEMO

- この機能は、AVRCP Ver1.3 以上に対応した Bluetooth オーディオ機器のみ使用できます。
- Bluetooth オーディオ機器の種類によって、リピート再生ができない場合があります。

- 1 AUDIO ▶ Bluetooth
- 2 機能 ▶ リピート
- 3 目的の項目を選択



1 曲：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

全曲：

Bluetooth オーディオ内の全トラックをリピート再生します。

グループ：

現在再生中のグループ内のトラックをリピート再生します。

アクセサリ／オプションを使う

さまざまなアクセサリ機器やオプション機器の使いかたについて説明しています。

オーディオリモコンスイッチを使う (別売)	188	地点通過時にカメラ映像を 自動表示する	199
スイッチの使いかた	188	カメラ映像を手動で映し出させる ..	199
リモコンを使う (別売)	190	コーナーカメラのガイドを 表示させる	199
リモコンボタンの名称とはたらき ..	190	SD カードを使う	200
リモコン操作時の注意	191	利用可能な SD カード	200
リモコンの使いかた	191	SD カード取り扱い上のご注意	200
電池に関する警告	192	ナビマスター S について	200
電池に関するご注意	192	オープニング画面の取り込み	201
電池を交換する	192	TV サーチ情報の取り込み	201
リア席モニターを使う (別売) ...	193	接続したビデオを見る (別売) ...	202
リア席モニターに表示できる映像 ..	193	VTR 機器／ポータブル オーディオを接続する	203
リアカメラを使う (別売)	194	VTR 機器接続の設定を切り替える ..	203
リアカメラの映像について	194	ナビゲーションから QQ コールを 利用する	204
リアカメラの映像を表示する	194	QQ コールの主なサービス	204
リアカメラの画質を調整する	195	ナビゲーションから QQ コールを 利用するには	205
ガイドラインを表示する	196	QQ コールに電話をする	206
表示ビューを切り替える (リアワイドカメラ接続時のみ)	196		
フロントカメラ／コーナーカメラを 使う (別売)	198		
カメラ映像について	198		
カメラ映像を自動で映し出させる ..	198		

オーディオリモコンスイッチを使う（別売）

スイッチの使いかた

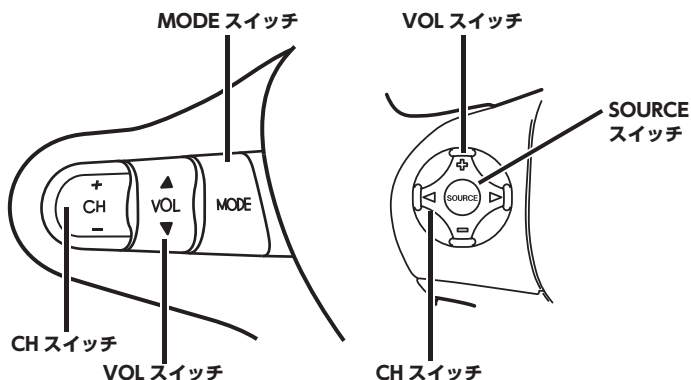
⚠ 注意

- 操作パネル以外にも、ステアリング（ハンドル）パッドのリモコンで操作することができます。
- 車種により対応していない場合があります。

MEMO

- 走行中運転の妨げにならないように十分注意してください。
- 車両によってオーディオリモコンスイッチが装備できない場合があります。
- 車両標準装備または別売の場合があります。

ボタンの名称とはたらき



■ MODE スイッチ／SOURCE スイッチ

オーディオソースを切り替えるときに使用します。ソースは次の順番で切り替わります。

FM1 ▶ FM2 ▶ AM ▶ DVD/CD ▶ Music Rack ▶ USB/iPod ▶ SD カード ▶ Bluetooth オーディオ ▶ 地上デジタル放送 ▶ VTR ▶ FM1

- 機器の接続状態や本機の設定により切り替えられない場合は、次のソースへスキップします。

■ VOL スイッチ

オーディオ、テレビの音量を調整します。スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。

▲／⬆：音量が大きくなります。

▼／⬇：音量が小さくなります。

■ CH スイッチ

オーディオ、テレビの機能操作に使用します。それぞれ選択したソースによって機能が異なります。詳しくは、本取扱説明書各項を参照ください。

ソース名	+- / ◀▶ 短押し	+- / ◀▶ 長押し
FM/AM	P.CH (プリセット選局)	SEEK (自動選局)
Music Rack	トラック (曲) 選曲	ALBUM UP / DOWN
SD カード	トラック (曲) 選曲	FOLDER UP / DOWN
Bluetooth オーディオ	トラック (曲) 選曲	無効
CD	トラック (曲) 選曲	無効
DVD/DVD-VR	チャプターを進める／戻す	無効
TV	P.CH (プリセット選局)	SEEK (自動選局)
iPod	トラック (曲) 選曲	無効
USB	トラック (曲) 選曲	FOLDER UP / DOWN

オーディオ
リモコン
スイッチを
使う (別売)

リモコンを
使う (別売)

リア席モニ
ターを使う
(別売)

リアカメラ
を使う
(別売)

フロントカメラ/
コーナーカメラを
使う (別売)

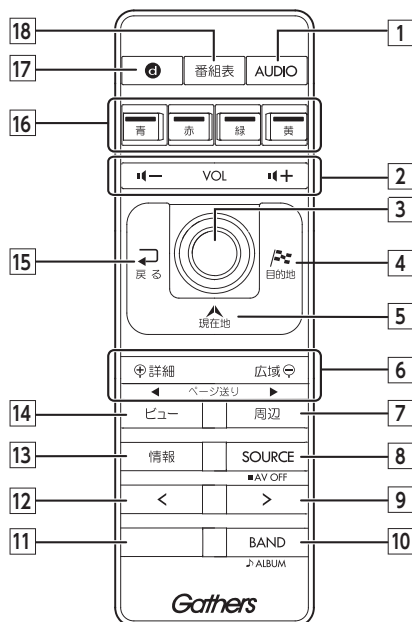
SD カード
を使う

接続した
ビデオを見
る (別売)

ナビゲーション
から QQ コール
を利用する

リモコンを使う (別売)

リモコンボタンの名称とはたらき



- 1 **AUDIO** ボタン
ナビゲーションモード、オーディオモードを切り替えます。
- 2 **VOL** **+** ボタン / **VOL** **-** ボタン
音量を調整します。
- 3 **ジョイスティック** **実行** ボタン
地図ではスクロールや地点登録、メニューでは項目などの選択と決定に使います。DVD ビデオモードのときは、上下左右いずれかの方向に操作すると、ディスクメニューを表示します。
- 4 **目的地** ボタン
行き先を設定するための目的地メニューを表示します。
- 5 **現在地** ボタン
現在地を表示します。
- 6 **詳細** ボタン / **広域** ボタン
地図の表示スケールを切り替えます。押し続けると拡大／縮小を細かく切り替えることができます。(フリースケール)
ページ送りには対応していません。

- 7 **周辺** ボタン
周辺検索メニューを表示します。
- 8 **SOURCE** ボタン
オーディオモードのソースを切り替えます。
AV OFF には対応していません。
- 9 **>** ボタン
テレビ／ラジオ時：
プリセットチャンネルアップ
長押し時：
チャンネルのシークアップ
その他のオーディオソース選択時※ 1：
トラックアップ、トラックの早送り
- 10 **BAND** ボタン
テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。CD、SD カード、USB メモリー、Music Rack では、フォルダ／グループなどの UP ボタンとして機能します。
- 11 **[]** ボタン
使用しません。
- 12 **<** ボタン
テレビ／ラジオ時：
プリセットチャンネルダウン
長押し時：
チャンネルのシークダウン
その他のオーディオソース選択時※ 1：
トラックダウン、トラックの早戻し
- 13 **情報** ボタン
VICS など、各種情報を見るための情報メニューを表示します。
- 14 **ビュー** ボタン
地図の表示方法を変えます。
- 15 **戻る** ボタン
前の画面に戻ります。
- 16 **カラー** ボタン
地上デジタル TV 放送のカラーキーを操作します。
- 17 **d** ボタン
地上デジタル TV 放送のデータ放送を受信します。押し続けると、データ放送操作キー呼出画面を表示します。
- 18 **番組表** ボタン
EPG (電子番組ガイド) を表示します。

※ 1 DVD では、リモコンで操作できないメニューがあります。その場合は、本機のタッチパネルで操作してください。また、VTR 選択時には操作無効となります。

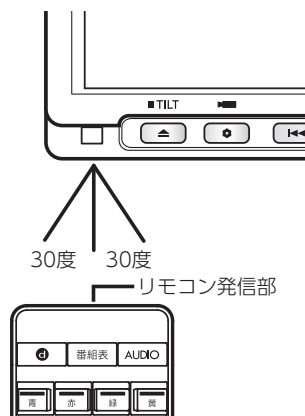
リモコン操作時の注意

リモコンをお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- 本機のリモコン受信部に直射日光が当たっていると、操作ができないことがあります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。
- リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しないでください。本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。
- リモコンの発信距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。
- リモコンを1ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出してください。液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

リモコンの使いかた

1 本機のリモコン受光部に向けて操作する



リモコンの発信部は、上下左右30度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。

MEMO

本機をリモコンで操作すると、自動的に「カーソル表示」設定がONに切り替わり、選択された項目がハイライト表示になります(P.106)。

オーディオ
リモコン
スイッチを
使う(別売)

リモコンを
使う(別売)

リア席モニ
ターを使う
(別売)

リアカメラ
を使う
(別売)

フロントカメラ/
コーナーカメラを
使う(別売)

SDカード
を使う

接続した
ビデオを見
る(別売)

ナビゲーション
からQQコール
を利用する

電池に関する警告

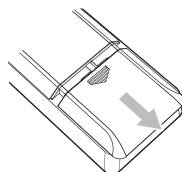
- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂により、けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合は、極性（⊕極と⊖極）に注意し、表示どおりに入れてください。電池の極性をまちがえると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 使い切った電池はすぐに交換してください。液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。

電池に関するご注意

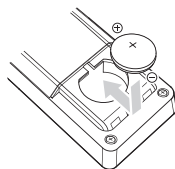
- 指定された電池以外は使用しない
電池の破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲を汚染する原因となることがあります。
- リモコン内に電池を入れるときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる
指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 加熱・分解したり、火・水の中に入れない
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
- 金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯または保管しない
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
- 使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する
- リモコンに付属の電池は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医者にご相談ください。

電池を交換する

1 電池カバーを開け、電池を取り出す



2 新しいリチウム電池（CR2032）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める



MEMO

はじめてリモコンを使用するときは、付属の電池を入れてください。

リア席モニターを使う（別売）

車の後席に別売のリア席モニターを増設すれば、後席で映像をお楽しみいただけます。

リア席モニターに表示できる映像

リア席モニターに表示できる映像は、以下のとおりです。リア席モニターにコントロールバーなどは表示されません。走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。

- DVD ビデオ、DVD-VR
- テレビ
- VTR
- iPod ビデオ

MEMO

- DVD、テレビ、VTR、iPod ビデオ以外のソースを選択しても、リア席モニターには何も表示されません。
- 本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、リア席モニターには、再生中の映像が表示されます。

オーディオ
リモコン
スイッチを
使う（別売）

リモコンを
使う（別売）

リア席モニ
ターを使う
（別売）

リアカメラ
を使う
（別売）

フロントカメラ／
コーナーカメラを
使う（別売）

SD カード
を使う

接続した
ビデオを見
る（別売）

ナビゲーション
からQQ コール
を利用する

リアカメラを使う（別売）

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車両の後方をモニターで見ることができます。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続している場合は、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

⚠ 警告

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

⚠ 注意

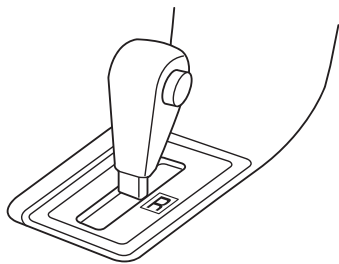
- ・リアカメラが映し出す範囲には限界があります。また、リアカメラの画面上に表示されるガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- ・リアカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- ・表示ビューの切り替え、画質の調整、ガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

リアカメラの映像について

- ・カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- ・リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは、車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- ・夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- ・リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
- ・カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- ・レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

リアカメラの映像を表示する

- 1 エンジンキーを ON にする
- 2 シフトレバーを **R**（リバース）にする



リアカメラの映像に切り替わりします。オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リアカメラの映像が優先して表示されます。



MEMO

- **ビュー** は、リアワイドカメラ接続時のみ表示されます。
- カメラ表示中に操作できるのは、操作パネルの **電源**、**上**、**下**、**左**、**右**、**戻る** 別売のリモコンの上記同機能ボタンです。
- 別売のオプションカメラを同時に接続することもできます。

リアカメラの画質を調整する

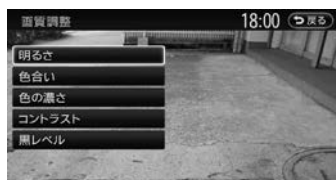
1 リアカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 **画質調整**

MEMO

- 何もタッチしないまま 5 秒が過ぎると **画質調整** は非表示になります。
- **コーション** にタッチするとメニューの表示位置を画面上部または下部のいずれかに変更できます。

3 調整する項目を選択



明るさ：

明るさを調整します。

色合い：

色味を調整します。

色の濃さ：

色の濃さを調整します。

コントラスト：

明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：

黒レベルを調整します。

4 **+** または **-**

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 **戻る**

調整した画質に設定されます。

MEMO

画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

オーディオ
リモコン
スイッチを
使う (別売)

リモコンを
使う (別売)

リア席モニ
ターを使う
(別売)

リアカメラ
を使う
(別売)

フロントカメラ/
コーナーカメラを
使う (別売)

SD カード
を使う

接続した
ビデオを見
る (別売)

ナビゲーション
から QQ コール
を利用する

ガイドラインを表示する

1 リアカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 ガイドライン表示

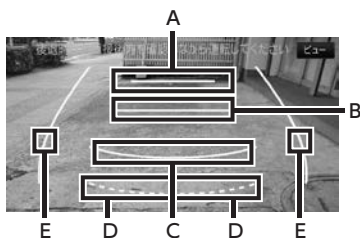


MEMO

- 何もタッチしないまま 5 秒が過ぎると **ガイドライン表示** は非表示になります。
- **コーション！** をタッチすると、メニューの表示位置を画面上部または下部のいずれかに変更できます。

ガイドラインが表示されます。

ガイドラインの表示は、設定した車両、ビューによって異なります。以下はノーマルビュー表示時を例にとって説明します。



- A: 車両後端から約 3m の位置を示します。
- B: 車両後端から約 2m の位置を示します。
- C: 車両後端から約 50cm または 1m の位置を示します。
- D: テールゲートまたはトランクが開閉可能な位置の目安を示します。
- E: 車幅 + 約 25cm の目安を示します。

MEMO

- トップダウンビュー表示時（リアワイドカメラ接続時のみ）は、A、B は表示されません。
- ガイドラインの C は車両またはガイドラインの設定によって、表示される目安位置が変わります。

表示ビューを切り替える (リアワイドカメラ接続時のみ)

リアワイドカメラ装着時に、リアカメラ映像の表示ビューを変更することができます。

■ 表示ビューを切り替える

1 ビュー



MEMO

- **ビュー** が点滅しているときは、表示ビューを切り替えることができません。

2 ビュー選択



ノーマル：

車両の後方を確認します。

ワイド：

標準よりも広い範囲で車両の後方を確認できます。

トップダウン：

車両の後方を上から見下ろしたように確認できます。

⚠ 注意

表示ビューの切り替えは低速走行中でも可能ですが、十分に周囲の安全を確認してから行ってください。

MEMO

ビュー選択表示後、5 秒間何も操作が無い場合は、リアカメラ映像に戻ります。

■ 次回表示時の表示ビューを設定する

トップダウンビューでリアカメラ表示を終了した場合の次回リアカメラ表示ビューを設定できます。

- 1 **MENU** ▶ **設定** ▶ **その他設定**
▶ **リアカメラ次回表示ビュー設定**

**2 表示ビューを選択**

前回表示ビューと同じ：

前回と同じ表示ビューで、車両の後方が表示されます。

トップダウンビュー時は次回ワイドビュー：

次回リアカメラ表示時に、自動的にワイドビューに切り替えて表示します。

トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー：

次回リアカメラ表示時に、自動的にノーマルビューに切り替えて表示します。

MEMO

ワイドビューまたはノーマルビューでリアカメラ表示を終了した場合、次回のリアカメラ表示は本設定によらず前回表示ビューと同じになります。

オーディオリモコンスイッチを使う (別売)

リモコンを使う (別売)

リア席モニターを使う (別売)

リアカメラを使う (別売)

フロントカメラ／コーナーカメラを使う (別売)

SD カードを使う

接続したビデオを見る (別売)

ナビゲーションからQQ コールを利用する

フロントカメラ／コーナーカメラを使う(別売)

ここでは、コーナーカメラを例にあげて説明しています。

警告

フロントカメラ／コーナーカメラはあくまで運転の補助手段として使用してください。安全のためカメラ使用時も目視による安全確認を行ないながら運転してください。

注意

- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

車速判定機能により、停車が予測されると自動的にカメラ映像が映し出されます。また、動作する地点を登録しておいても、自動的にカメラ映像を映し出すことができます。

カメラ映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- フロントカメラ／コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

カメラ映像を自動で映し出させる

自動表示停車が予測されたとき、カメラ映像が自動で表示するかどうかを設定します。

- 1 **MENU** ▶ **設定** ▶ **その他設定**
- 2 **フロントカメラ設定** または **コーナーカメラ設定**
- 3 **フロントカメラ自動表示設定** または **コーナーカメラ自動表示設定**



MEMO

OPTION ボタンを押すことでカメラ映像を手動で表示することもできます。

地点通過時にカメラ映像を自動表示する

■ 登録地ごとのカメラ映像自動表示を設定する

自動表示設定された登録地点通過時に停車が予測されたとき、カメラ映像を自動で表示するかどうかを設定します。

- 1 (MENU) ▶ 設定 ▶ その他設定
- 2 フロントカメラ設定 または
コーナーカメラ設定
- 3 登録地点検知

■ 登録地にカメラ映像自動表示を設定する

登録地ごとに、カメラ映像を自動的に映し出すよう設定することができます。

- 1 (MENU) ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
- 2 登録データの編集・消去 ▶ 登録地点
▶ 地点選択 ▶ 編集
- 3 アイコン ▶



MEMO

- ・現在地メニューから、現在地をカメラ地点として登録できます (P.22)。
- ・地点メニューから、スクロール先の地点をカメラ地点として登録できます (P.54)。

カメラ映像を手動で映し出させる

カメラ映像を手動で表示するには、あらかじめOPTION ボタンにフロントカメラ／コーナーカメラ表示機能を設定する必要があります。

1

カメラの映像が表示されます。



MEMO

- ・再度 を押すか車を加速すると、直前に表示していた画面に戻ります。
- ・「パネル異常停止コーション」が表示された場合は、 ボタンを押してもフロントカメラ／コーナーカメラは表示されません。

コーナーカメラのガイドを表示させる

1 カメラ映像表示中に画面にタッチ ▶ ガイドライン表示 にタッチ



映像画質を調整できます (P.195)。

2 ガイドラインが表示されます。



オーディオリモコン
スイッチを使う (別売)

リモコンを使う (別売)

リア席モニターを使う (別売)

リアカメラを使う (別売)

フロントカメラ／
コーナーカメラを使う (別売)

SD カードを使う

接続したビデオを見る (別売)

ナビゲーションからQQ コールを利用する

SD カードを使う

MEMO

登録地の SD カードへのバックアップについては「よく行く地点を SD カードにバックアップする」(P.93) を参照してください。

利用可能な SD カード

SD カードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。

本機でお使いいただける SD カードは以下のとおりです。

- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード
- miniSD カード*
- microSD カード*

※ 専用のアダプターが必要です。そのまま入れた場合、取り出せなくなったり、故障の原因となったりしますので、かならず専用アダプターをご使用ください。

本機では SD カードと互換のない記録メディアには対応していません。

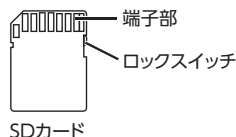
MEMO

- miniSD アダプター、microSD アダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

SD カード取り扱い上のご注意

SD カードをお使いの際は、以下のようなことにご注意ください。

- SD カードは、ダッシュボードの上や直射日光のあたる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- SD カードの端子面に、手や金属で触れないでください。
- SD カードの最適化は行わないでください。
- 書き込み中や読み込み中に SD カードを抜いたり、エンジンキーを OFF にしないでください。また、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されることがあります。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SD カードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SD カード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- SD カードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
- SD カードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



ナビマスター S について

本機に取り込む画像のサイズ調整や、アルバム情報の更新には、弊社で提供しております PC 用アプリケーション「ナビマスター S」が必要です。「ナビマスター S」は、以下の弊社ホームページからダウンロードできます。

- VXM-122VFi
<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-122vfi/>
- VXM-122VF
<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-122vf/>

「ナビマスター S」の操作方法は、アプリケーションの提供とあわせてご案内します。

オープニング画面の取り込み

SD カード内のオープニング画面データを 20 個まで取り込むことができます。オープニング画面として取り込んだ画像はほかの用途には使えません。

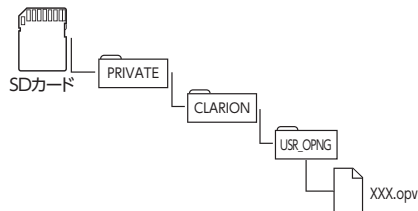
オープニング画面とは

オープニング画面とは、本機起動時に画面に表示される画像のことです。デジタルカメラなどで撮影したお好みの画像ファイルをオープニング画面としてお使いいただけます (P.105)。

オープニング画面として画像を扱うには

オープニング画面は、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- PC 用アプリケーション「ナビマスター S」で作成した画像データを「opv」形式で保存したもの。
- 以下のフォルダ構造でファイルが保存されていること。



オープニング画面を取り込む

1 オープニング画面の画像を保存した SD カードを挿入 (P.130)

2 (MENU) ▶ (設定) ▶

SDメモリーカード ▶

オープニング画面の取り込み ▶

オープニング画面を選択 ▶ (決定)

オープニング画面が本機に取り込まれます。

TV サーチ情報の取り込み

TV サーチ情報とは、テレビで紹介された情報で、本機で目的地を検索する際に使用できます。

継続的に施設を紹介する特定の番組から、クラリオン株式会社オリジナルデータとして過去 3 年分の情報を抽出・本機に収録しています。

TV サーチ情報を更新する

⚠ 注意

データの更新中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TV の情報から探す」(P.48) 機能が正しく動作しなくなる恐れがあります。

1 「ナビマスター S」の TV 情報機能を使用し、SD カードへ TV サーチ情報を保存します。

2 SD カードを使って本機の TV サーチ情報を更新します。

(MENU) ▶ (設定) ▶

SDメモリーカード ▶

TVサーチ情報の更新 ▶ (はい)

データの更新が終了します。

(「ナビマスター S」画面上の「?」マークをタッチすると、TV 情報機能の取扱説明書を参照できます。)

MEMO

- SD カードとパソコンを使用して TV サーチ情報を更新することができます。

- 本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するための PC 用アプリケーション「ナビマスター S」が必要になります。

詳しくは「ナビマスター S について」(P.200)を参照してください。なお、TV サーチ情報は過去 3 年分を収録しているため、データを更新すると、古いデータは消去され、過去 3 年以内の情報のみになります。消去したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。

オーディオリモコン
スイッチを使う (別売)

リモコンを使う (別売)

リア席モニターを使う (別売)

リアカメラを使う (別売)

フロントカメラ／
コーナーカメラを使う (別売)

SD カードを使う

接続したビデオを見る (別売)

ナビゲーションから QQ コールを利用する

接続したビデオを見る（別売）

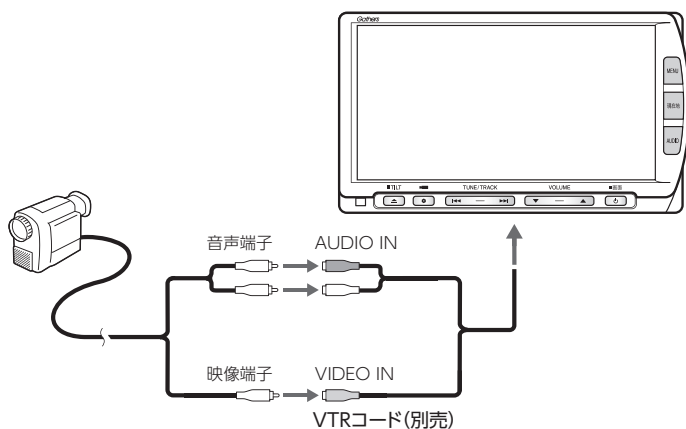
別売の VTR コード接続時のみ VTR 機器／ポータブルオーディオの視聴ができます。

⚠ 警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を見ることができます。走行中は、音声だけ聴くことができます。

⚠ 注意

接続する VTR 機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。



VTR 機器／ポータブルオーディオを接続する

1 別売の VTR コードで、本機とお手持ちの VTR 機器／ポータブルオーディオを接続

MEMO

- 映像入力端子と音声入力端子を正しく確実に接続してください。
- 接続した VTR 機器／ポータブルオーディオの取扱説明書をあわせて参照ください。

2 AUDIO ▶ VTR



MEMO

別売の VTR コードを接続していない場合、または iPod の接続方法を「USB+VTR 接続（アナログ音声）」（P.182）に設定していると、**VTR** は表示されません。

3 VTR 機器／ポータブルオーディオを操作

VTR 映像が再生されます。

MEMO

- VTR 操作画面の **画面切替** をタッチすると、画面の表示サイズを切り替えることができます。詳しくは、「画面サイズを切り替える」（P.158）を参照してください。
- VTR 操作画面の **画質調整** をタッチすると、映像の画質を調整することができます。詳しくは、「画質を調整する」（P.159）を参照してください。

VTR 機器接続の設定を切り替える

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定 ▶ VTR 接続設定



VTR 機器接続：

VTR 機器やポータブルオーディオ機器を接続するときに選択します。

iPod Video 接続：

iPod のビデオ映像を見る場合は、こちらの接続方法を選択します。本設定を行うとソース選択画面の **VTR** は非表示になり、VTR 機器は使用できません。

MEMO

接続方法を変更後に iPod を使う場合は、一旦、iPod の USB コード接続を外し再度接続してください。

オーディオリモコンスイッチを使う（別売）

リモコンを使う（別売）

リア席モニターを使う（別売）

リアカメラを使う（別売）

フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）

SD カードを使う

接続したビデオを見る（別売）

ナビゲーションから QQ コールを利用する

ナビゲーションから QQ コールを利用する

QQ コールは、ドライブの出発前から到着後まで、安全・安心なドライブをサポートする Honda 車専用のロードサービスです。路上救援だけでなく、代替交通費の補償や、修理後の車両搬送など充実のアフターフォローでカーライフをサポートします。

QQ コールの主なサービス

■ 路上救援

- ・ 落輪、乗り上げ
- ・ 雪道、泥道などでのスタック
- ・パンク（スペアタイヤ）交換
- ・ 故障応急処理（キー閉じ込み、バッテリー上がり含む）
- ・ 燃料切れ（ガソリン、軽油）10L 無料（年 1 回）

■ アフターフォロー

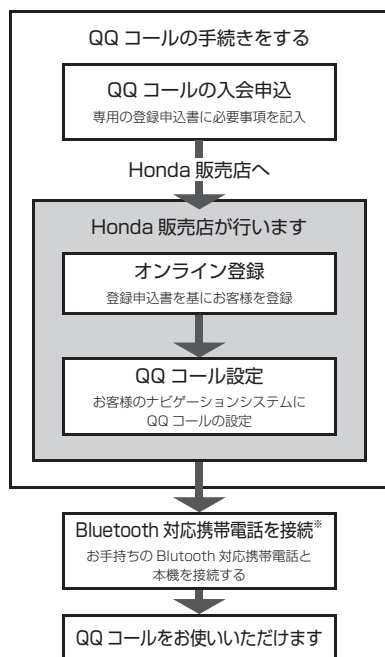
- ・ 走行不能時の牽引：最寄りの Honda 販売店まで無料（距離制限 30km）
- ・ 帰宅、旅行など予定継続手段の手配：1 名につき最大 5 万円（総額 10 万円まで）
- ・ 修理が必要で最寄りの Honda 販売店が閉店時には車両を保管
- ・ ドライブ中の急病やケガに際し、最寄りの病院を紹介。救急車の手配も。
- ・ 事故の際、加入されている保険会社への連絡が必要な場合、連絡を代行（※）
- ・ 修理後、自宅近くの Honda 販売店まで無償搬送（全国距離無制限）
- ・ ご要望に応じ、ご家族、ご友人、会社などへメッセージ

※ 保険会社に連絡した内容に関しての責任は負いかねますので、ご了承ください。制度上、警察への連絡は、お客様から行っていただく必要があります。

【ご注意】「QQ コール」は有料ロードサービスです。別途 Honda 販売店でのお申し込みが必要です。
お申し込み、お問い合わせはお近くの Honda 販売店まで。
詳しくは、QQ コールホームページ：<http://www.honda.co.jp/qqcall/>

ナビゲーションから QQ コールを利用するには

ナビゲーションから QQ コールを利用するには、以下の手続き、操作が必要となります。



※ 本機に接続できる携帯電話をお持ちでない場合は、画面に QQ コールセンターの電話番号が表示されますので、お手持ちの携帯電話などを使って QQ コールに電話をかけられます。
携帯電話の接続方法について詳しくは、「電話を利用する」(P.109) を参照ください。

オーディオ
リモコン
スイッチを使う
(別売)

リモコンを
使う (別売)

リア席モニ
ターを使う
(別売)

リアカメラ
を使う
(別売)

フロントカメラ/
コーナーカメラを
使う (別売)

SD カード
を使う

接続した
ビデオを見
る (別売)

ナビゲーション
から QQ コール
を利用する

QQ コールに電話をする

ハンズフリー機能を利用して、QQ コールに連絡します。

MEMO

- QQ コール表示中は、以下の機能のみ操作できます。
 - 北方向上地図／進行方法上地図の切り替え
 - 地図の拡大／縮小
 - 地図スクロール
 - 音量調整
 - 現在地表示
- **QQコール** は、入会手続きと設定を行わないと表示されません。
入会手続きと設定は Honda 販売店にて行います。詳しくは、Honda 販売店にお問い合わせください。

1

(MENU)



QQコール



2

発信 をタッチする

QQ コールのコールセンターに電話がかかります。
本機に表示されるマップコードをアシスタンスコー
ディネーターに伝え、指示に従ってください。



MEMO

- 上記の画面が表示されない場合は、携帯電話が接続されていません。あらかじめ携帯電話を接続し
てください。
- QQ コールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話の通話可能区域内です。
- **発信** をタッチしてもつながらない場合や、バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は、
携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。
- 走行中は QQ コールの電話番号およびマップコードは表示されません。車を安全な場所に停車して
から操作を行ってください。